

リファレンスガイド

•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•					
•	•	•	•	•	·	·	•	•	•	•	•	•	•	·	·	•					
																			_		

JAPANESE VERSION

ライセンス管理ソフトウエア

Vectorworks 2025ネットワーク版では、サーバー/クライアント形式でライセンスを管理し、Vectorworks製品を使用することができ ます。サーバーマシン上のライセンス管理ソフトウエアで、同時に使用できるクライアントライセンスの数を管理します。このた め、使用するすべてのクライアントマシンにVectorworksネットワーク版をインストールしておき、必要な時だけライセンス管理ソフ トウエアからライセンスを取得してVectorworksを起動することができます。また、有効にした場合はライセンスを持ち出すこともで きます(教育用バージョンおよび他の一部のケースでは持ち出しが許可されていません)。クライアントでは、Vectorworksプログラ ムの起動時にクライアントマシン上で許可されたモジュールを選択します。

Vectorworks Site Protection Server(以下、ライセンス管理ソフトウエア)のコアには、米国Reprise Software, Inc.製のライセンス管理ソ フトウエア、Reprise Licence Manager(RLM)を使用しています。管理設定には、タスクバー(Windows)またはメニューバー (Mac)のシステムメニュー、あるいは必要に応じてサーバーのブラウザからアクセスできます。

サーバーのプロテクション方式にはアクティベーションキーとドングルの2種類がありますが、2023からはアクティベーションキー 方式のみの提供となっております。

ライセンス管理ソフトウエアは以下の機能を持ち、個々のVectorworksプログラムの起動やネットワーク全体での使用状況などを管 理します。

- クライアントマシンがライセンス管理ソフトウエアに接続した時に、ソフトウエアの起動を承認
- ライセンスプール(ライセンス全体)の管理、ライセンスの持ち出しを有効にした場合はライセンスの持ち出しを許可
- ライセンス利用状況の表示

- ログによるライセンス利用状況・接続情報の出力
- ユーザー権限・ライセンス持ち出し可能モジュール・持ち出し上限などを管理

ライセンス管理者以外のユーザーは、<u>クライアントマシンでVectorworksを起動する</u>に進んで、サイトプロテクション機能を備えた Vectorworksプログラムの使用に関する情報を参照してください。

<u>ライセンス管理ソフトウエアをインストールする</u> <u>クライアントマシンでVectorworksを起動する</u> <u>ライセンス管理ソフトウエアのシステムメニュー</u> <u>ライセンス管理ソフトウエアのプロセス</u> <u>トラブルシューティング</u>

ライセンス管理ソフトウエアをインストールする

インストールと運用には、クライアントマシンとサーバーマシンの両方で管理者(Administrator)権限のあるユーザーアカウントが 必要です。サーバーとクライアントに同じマシンを使用しないでください。インストーラーには、インストールシステム要件やイン ストールに関する既知の問題が一覧表示されています。インストールを円滑に行うため、事前にシステム要件を確認してください。

システム要件

クライアントマシンについては、Vectorworks製品の要件を満たすコンピューターにソフトウエアをインストールする必要がありま す。サーバーマシンのシステム要件は、クライアントマシンほど厳しくありません。

最新バージョンに固有のシステム要件は、Webサイトを参照してください。

ネットワークプロトコル

ライセンス管理ソフトウエアとクライアントのVectorworks Design Suite製品は、動作環境が異なります。サーバーマシンのIPアドレス は、原則的には固定してください。ただし、同じサブネット内であれば、サーバーマシンのIPアドレスを固定しなくても、IPアドレ スの自動検知機能により接続できます。ライセンスの持ち出しを許可する時は、サーバーマシンの固定IPアドレスを使用してくださ い。サーバーのIPアドレスを自動割り当てにすると、クライアントが持ち出したライセンスを返却できないことがあります。

クライアントマシンでのインストール

クライアントマシンでは、Vectorworksインストールプログラムを使用して、Vectorworksシリーズ全体のプログラムと、ライセンスお よびサーバーの指示に基づいてアクセスを許可する製品を決定できる機能をインストールします。

サーバーマシンでのインストール

サーバーマシンでは、専用のインストールプログラムを使用して、ライセンス管理ソフトウエアに必要なコンポーネントなどをイン ストールします。インストールにはアクティベーションキーが必要です。ドングルを使用する場合は、ドングル(プロテクトキー) に必要なドライバーソフトウエアをインストールします。ドングルを使用しない場合はアクティベーションキーが必要です。

サーバーの設定

インストール時、Vectorworks Site Protection Serverセットアップダイアログボックスでサーバーの設定を行います。デフォルトの設定 を使用することを推奨します。

パラメータ	説明
RLMポート番号	通常は、デフォルトのポート番号5053のままにしておくことを推奨しま す。
ISVポート番号	通常は空のままにして、次にランダムに開くポート番号を割り当てます。
ISVの遅延起動	ISVサーバーの起動時間を、指定した秒数だけ遅らせます。これにより、IP アドレスを取得してライセンスを確認する時間を確保できるほか、ドング ルドライバーを参照する時間も確保できます。

インストール後にライセンス管理 ソフトウエア実行する (Macのみ)	インストール完了時に、ライセンス管理ソフトウエアを起動します。
アプリケーションをWindowsファ イアウォールの例外リストに追加 する (Windowsのみ)	ファイアウォールの警告を生成せずに、アプリケーションからポートを通 じて情報を送信できるようにすることで、通信エラーを回避します。
Windows起動時に(サービスとし て)自動で起動する/Mac起動時 に(デーモンとして)自動で起動 する	サーバーソフトウエアを自動的に起動し、バックグラウンドプロセスとし て実行できるようにします。
シリアル番号自動取得機能を有効 にする	Vectorworksクライアントインストーラーのネットワークブロードキャスト 機能を使用して、サーバーから自動的にシリアル番号を入手することで、 Vectorworksをインストールするたびにシリアル番号を何度も入力する必要 がなくなります。VPNやセグメント化されたネットワーク環境によりサー バーの自動検出に問題がある場合も想定し、通常はこのオプションの選択 を解除したまま、インストール時にシリアル番号を手入力します。

サーバー管理画面ログインの設定

セキュリティ上の理由から、アカウント名とパスワードが必要になります。インストール時に、**アカウント名**はデフォルトでadmin に設定されていますが、別の名前を指定できます。パスワードは最初は空白になっています。

サーバーのライセンス管理ソフトウエアのインストール後10分以内に、パスワードを作成する必要があります。パスワードを空白の ままにしておくと、サーバーが終了し、テクニカルサポートからの支援が必要になる場合があります。インストールするとブラウザ が自動的に開き、パスワードを設定できます。この手順はスキップしないでください。あるいは、ライセンス管理ソフトウエアのシ ステムメニューでサーバー管理画面ログインアカウントの設定を選択して、パスワードを設定することもできます。 <u>ライセンス管理</u> ソフトウエアのシステムメニュー

その他のインストール設定

ライセンス情報を入力するか、ライセンスファイルの場所を指定して、インストールを完了します。サーバーを最初にインストール し、<u>ライセンス管理ソフトウエアのシステムメニュー</u>を通じてライセンス情報を後で指定できます。アクティベーションキーでアク ティベーションする場合には、ライセンスファイルが自動的に生成されます。アクティベーションにドングルを使用する場合は、ド ングルと共に必要なライセンスファイルが提供されます。

ライセンス管理ソフトウエアでは、利用中のライセンスの種類を検出し、再度アクティベートするか最新のライセンスファイルを取 得して、深夜にライセンスを自動更新します。ポート設定は維持されます。

インストール後、サーバーのタスクバー(Windows)またはメニューバー(Mac)の通知領域に<u>ライセンス管理ソフトウエアのシス</u> <u>テムメニュー</u>アイコンが表示されます。

注:ドングルのドライバーソフトウエアに関する詳細は、<u>Thales</u>をご確認ください。

ファイアウォールアクセスの設定

インターネットアクティベーションを使用するには、URLをsite-activation.vectorworks.net、接続ポートを80 (http) にしま す。

高セキュリティ環境(プロキシ設定)

プロキシ設定は、環境変数のHTTP_PROXYとHTTP_PROXY_CREDENTIALSで制御されます。

例:

HTTP_PROXY=myproxyaddress.com

HTTP_PROXY_CREDENTIALS=username:password

Windowsでは、プロキシ設定はRLMによってオペレーティングシステムから自動検出されます。

ライセンス管理ソフトウエアをアンインストールする

ライセンス管理ソフトウエアのシステムメニューで、Vectorworks Site Protection>アンインストールを選択します。

インターネットでアクティベートしたライセンスを無効にして別のコンピューターにインストールするか、ライセンスファイル、ロ グ、および構成設定をすべて削除するかを選択できます。

.....

起動・認証時の確認事項

クライアントマシンでVectorworksを起動する

Vectorworksプログラムを起動すると、ライセンス管理ソフトウエアと通信します。サーバーマシンへのネットワーク接続を確保する と共に、サーバーマシンでサーバーソフトウエアを実行している必要があります。

注:ソフトウエアライセンスを持ち出している場合、期間内はネットワーク接続は不要です。

Vectorworksプログラムを起動する

1. Vectorworksプログラムを起動します。

ログイン設定ダイアログボックスが開きます。サーバー接続オプションは、システム管理者がすでに設定している場合が あります。これらの設定は変更しないでください。

パラメータ	説明
接続	
サーバーを自動検出	ライセンス管理ソフトウエアに自動的に接続します。サーバーマシンのポート番号フィー ルドはグレイアウトされています。VPNやセグメント化されたネットワーク環境によりサー バーの自動検出に問題がある場合も想定し、通常はこのオプションの選択を解除したま ま、 プライマリサーバー にサーバー情報を入力します。
サーバー設定	サーバー設定ダイアログボックスが開き、サイトプロテクションに利用可能なサーバーを 管理できます(以下を参照)。
プライマリサーバー	サーバーを自動検出にチェックを入れていない場合は、サーバーのIPアドレスとポート番号 を入力します。ポート番号は、RLMサーバーのポート番号と同じ番号に設定します。デフォ ルトは5053です。
モジュール	(Vectorworks製品の)必要なモジュールや使用を許可されているモジュールを選択します。
サードパーティ	サードパーティモジュールダイアログボックスが開き、サードパーティから提供されたモ ジュール、サーバーのライセンスファイルに存在するモジュール、使用を許可されているモ ジュールを選択できます。
持ち出し	許可されている場合は、指定した日数にわたり、その期間はサーバーに接続することな く、選択したモジュールのライセンスを持ち出せます。持ち出し期間の最大日数は通常、30 日です。
返却	持ち出したライセンスは期限前に返却できます。 返却 をクリックしてサーバーに接続し、 持ち出したライセンスを返却します。
	持ち出し期間は自動的に失効します。持ち出したソフトウエアを期限前に返却する場合 は、 返却 をクリックするだけで済みます。持ち出し期間が終了すると、クライアントのライ センスは自動的に解放され、ソフトウエアを起動できなくなります。
持ち出しライセンスの 有効期限:日間	ソフトウエアのライセンスを持ち出す日数を、通常は30日間を上限に入力します。ライセ ンスは持ち出し期間の最終日の深夜0時に自動的に解放され、ソフトウエアは起動できなく なります。

情報	ソフトウエアのライセンスが持ち出されている間は、持ち出し中のモジュールと残りの持 ち出し期間(日数または時間数)が表示されます。
起動時に表示しない	チェックを入れると、起動時にログイン設定ダイアログボックスが表示されなくなりま す。

2. モジュールリストで、起動したいVectorworks製品を選択します。

モジュールを複数選択することはできません。

注:モジュールを選択してログインした後は、Vectorworksプログラムを終了して再度ログインしない限り、別のモジュールに変更できません。

注: ライセンスを持ち出している最中は、モジュールの切り替えは出来ません。持ち出したライセンスを返却してから、モジュールを変更してください。

Vectorworksの実行中に使用できる作業画面は、選択したモジュールによって異なります。

3. **ログイン**をクリックします。Vectorworksアプリケーションが正常にサーバーマシンと通信して、ライセンス管理ソフトウ エアが起動を許可すると、Vectorworksプログラムが起動します。

注:ライセンスを取得できなかった場合には、対象のモジュール名と共にダイアログが表示されます。

Vectorworksアプリケーションの実行中は、Vectorworksの環境設定ダイアログボックスのその他ペインで**ログイン設定**ボタンをク リックして、ログイン設定ダイアログボックスにアクセスできます。現在接続しているサーバーのIPアドレスとポート番号を表示す るには、**接続**をクリックします。**起動時に表示しない**を設定しており、ログイン設定ダイアログボックスをもう一度起動時に表示さ せたい場合も、この操作でログイン設定ダイアログボックスの設定を変更して表示させることができます。

サイトプロテクションサーバー設定

サーバー設定ダイアログボックスには、接続可能なサーバーが一覧表示されます。サーバー接続は通常、システム管理者が設定しま す。

使用可能なサーバーとポート番号は接続順に一覧表示されます。プライマリサーバーがダウンしているか、モジュールのチェックア ウトを許可しない場合は、リスト内の次のサーバーに接続されます。

ライセンス管理ソフトウエアを管理するには:

ログイン設定ダイアログボックスで**サーバー設定**をクリックします。サーバー設定ダイアログボックスが開きます。

パラメータ	説明
サーバーのIPアドレスとポート番 号	サーバーのIPアドレスとポート番号を指定します。
サーバーリスト	使用可能なサーバーを、優先順位に従って一覧表示します。
追加	現在入力しているサーバー情報を、使用可能なサーバーのリストに追加しま す。

削除	現在選択しているサーバーを、サーバーリストから削除します。プライマリ サーバーは削除できません。
上へ/下へ	選択したサーバーをリスト内で上または下に移動し、リストの優先順位を変 更します。

注:ネットワーク上のサーバーを確認する時間は、LoginDialog.xmlファイルの<AutoFindMaxTime>パラメータで編集できます。デ フォルト値は1秒です。

接続エラー

Vectorworksプログラムは、ライセンスが持ち出されていない限り、定期的にライセンス管理ソフトウエアと通信しています。接続は 数十秒ごとに検証されます。

一時的なネットワークの問題によってサーバーへの接続が切断されると、ダイアログが表示されます。**再試行**をクリックして再接続 を試みてください。再接続されると、作業を続けることができます。再接続できない場合は、**保存して終了**をクリックします。保存 されていないすべての作業ファイルが保存され、Vectorworksプログラムが終了します。

予期していなかった接続問題の原因を調査するか、システム管理者に連絡して、サーバー接続の復旧支援を受けてください。管理者 は、ライセンス管理ソフトウエアの稼動状況を確認できます。

.....

<u>Vectorworksライセンスの持ち出しと返却</u> <u>ライセンス管理ソフトウエアのエラーメッセージ</u>

Vectorworksライセンスの持ち出しと返却

ライセンスの持ち出し

ライセンスの持ち出しを有効にしている場合、持ち出し期間中はネットワークに接続しなくてもVectorworksプログラムを使用できま す。出張時など、サーバーに接続できない場合でもVectorworks製品を使用できます。ライセンス管理ソフトウエアは、持ち出したラ イセンス数と経過した持ち出し時間を管理/記録しています。

注:クライアントマシンに複数のバージョンのVectorworksプログラムがインストールされている場合は、最新のバージョンのラ イセンスを持ち出してください。以前のバージョンのライセンスを持ち出した後に、最新のバージョンを持ち出そうとすると、 エラーが起こります。

1. Vectorworksプログラムを起動します。

ログイン設定ダイアログボックスが開き、ライセンスを持ち出せます。

Vectorworksの起動時にログイン設定ウインドウを表示しないよう設定している場合は、Vectorworksの環境設定ダイアログ ボックスのその他ペインでログイン設定をクリックして、Vectorworksプログラムを再起動します。

2. 持ち出しライセンスの有効期限:____日間に持ち出したい日数を入力して、持ち出しをクリックします。返却ボタンが使用 できるようになります。

持ち出し期間は最大30日です。

許可されている期間より長くライセンスを持ち出そうとすると、ダイアログが表示されます。持ち出し可能な期間内で設 定してください。制限されているモジュールのライセンスを持ち出そうとすると、対象のモジュール名と共にダイアログ が表示されます。使用を許可されているモジュールを選択してください。

3. 情報をクリックして、持ち出しの情報を表示します。

参考に持ち出しの有効期限と残りの期間が表示され、持ち出したモジュールの名前も表示されます。

注:オペレーティングシステムの地域設定(Windows)または言語と地域の設定(Mac)に応じて、日時が表示され ます。

ライセンスの返却

設定した期間にわたってライセンスを持ち出す場合、返却する必要はありません。設定した持ち出し日数が経過すると、持ち出した ライセンスは自動的に返却されます。ライセンスを期限前に返却するには、Vectorworksプログラムを起動して、ライセンス管理ソフ トウエアに接続します。

1. Vectorworksプログラムを起動します。

ログイン設定ダイアログボックスが開き、ライセンスを返却できます。

注: Vectorworksの起動時にログイン設定ウインドウを表示しないよう設定している場合は、Vectorworksの環境設定ダイアログボックスのその他ペインでログイン設定をクリックして、Vectorworksプログラムを再起動します。

2. **返却ボタン**をクリックします。

返却が終了します。ダイアログボックスの**返却**ボタンがグレイアウトし、代わりに**持ち出し**ボタンが有効になります。同時に、ライセンス管理ソフトウエア側の利用可能なライセンス数が返却された数だけ増加します。

* ライセンス持ち出し中にクライアントマシンが破損するなど、サーバーと接続できなくなった場合には、持ち出したラ イセンスを返却できません。設定した持ち出し日数が経過するとライセンスは自動で返却されます。

.....

<u>クライアントマシンでVectorworksを起動する</u>

ライセンス管理ソフトウエアのプロセス

ライセンス管理ソフトウエアは、Reprise License Manager(RLM)サーバーとIndependent Software Vendor(ISV)サーバーの2つで構成 されます。これらのサーバーは、TCP/IPで通信して連携します。



RLMサーバー

RLMサーバーは、米国のライセンス管理ソフトウエアベンダReprise Software, Inc,が開発したサーバー管理プログラムです。ライセン ス管理ソフトウエアのコア機能として、以下のネットワーク管理タスクを行います。

- ISVサーバーとUDPポート(ポート番号はランダム)で通信を行い、連携して動作します。
- VectorworksクライアントとTCP/IPとポート(5053)で起動確認のための通信を行います。
- TCP/IPポート(5054)を通じてブラウザと通信し、ライセンス管理ソフトウエアの管理情報を表示します。

注:RLMサーバーはさまざまなオプション機能を持っていますが、Vectorworksネットワーク版では一部を除き使用しません。

isvサーバー

Vectorworksクライアントのライセンス管理を行います。ライセンスの利用状況の確認、ログ管理、その他オプション機能を使用する ことができます。ISVサーバーはVectorworks, Inc.による専用のサーバーで、さまざまな画面で「vektorwrx」と表されます。

ライセンス管理ソフトウエアを起動する

ライセンス管理ソフトウエアを使用するマシンには、アクティベーションキーまたはプロテクトキー(ドングル)のいずれかが必要 です。ドングルを使用する場合は、ドングルをサーバーマシンのUSBポートに挿入する前に、ライセンス管理ソフトウエアを起動し ていれば一度終了し、ドングル装着後にドングルが点灯することを確認します。

ライセンス管理ソフトウエアをWindowsサービス(Windows)またはデーモン(Mac)としてインストールした場合、マシンを起動 すると、ライセンス管理ソフトウエアは自動的に起動して実行し続けます。自動的に起動しない場合は、<u>RLMサーバーを再起動する</u> に記載されているようにrlm.exe(Windows)またはrlm(Mac)を起動します。Windowsでは、サーバーソフトウエアを(Windows サービスではなく)スタンドアロンで起動すると、コマンドプロンプトウインドウが開いたままになりますが、最小化できます。

起動後、<u>ライセンス管理ソフトウエアのシステムメニュー</u>を使用できるようになります。

システムメニューまたはブラウザを通じたサーバーの管理

通常良く使われる管理機能は、ライセンス管理ソフトウエアのシステムメニューからアクセスできます。必要に応じてブラウザのイ ンターフェイスを使用して、高度な機能にアクセスしたり、ライセンスサーバーを必要な時にリモートで制御したりできます。

<u>ライセンス管理ソフトウエアのシステムメニュー</u> ブラウザでのサイトプロテクションサーバー管理

......

ライセンス管理ソフトウエアのシステムメニュー

ライセンス管理ソフトウエアのシステムメニューで、通常必要なライセンス管理者タスクにアクセスできます。

』 ライセンス管理ソフトウエアのシステムメニューにアクセスするには:

- 1. Windowsでは、コンピューター画面の右下にある、タスクバーの通知領域に表示されているアイコンを右クリックしま す。Macでは、コンピューター画面の右上にあるメニューバー上のアイコンをクリックします。
- 2. システムメニューが開きます。メニューコマンドを選択します。

システムメニューコマンド	説明
Vectorworks Site Protection	
サーバー管理画面を開く	サーバー管理画面のブラウザインターフェイスを起動します(Windowsユー ザーは、システムメニューアイコンをダブルクリックして開くこともできま す)。
サーバー管理画面ログインアカ ウントの設定	ブラウザでアカウント名とパスワードを設定することで、(ライセンス管理な どの機能に必要な)ブラウザインターフェイスへのアクセスを制御できます。 アカウント名とパスワードはどちらも必須です。
	<mark>注:</mark> RLMサーバーでパスワードが検出されない場合、RLMサーバーは終了 します。
	このコマンドを使用すると、サーバー管理画面ログインアカウントの設定ダイ アログボックスが開き、アカウント名(デフォルトはadmin)を入力できま す。
	サーバーのインストール時に指定したアカウント名を入力すると、ブラウザの インターフェイスが開きます。それまでアクセスしたことがなければ、場合に よりインターフェイスの左側で再度ログインする必要があります。最初はパス ワードを空白のままにしておき、その後Change Password(チェンジパスワー ド)ペインをクリックしてパスワードを設定します。
	サーバーにアクセスするユーザーにもパスワードが必要です。 <u>サーバーのパス</u> <u>ワードを設定する</u> を参照してください。
アンインストール	ライセンス管理ソフトウエアをアンインストールします。
コントロール	ライセンス管理ソフトウエアがアクティブの場合は、コントロールメニューに 「起動中」と表示されます。
スタート	停止しているサーバーを起動します。
リスタート	すべての設定とライセンスファイルを更新して、サーバーを再起動します。 RLMサーバー全体が完全に再起動するわけではなく、クライアントのワークフ ローも中断されません。
ストップ	
ライセンス	

アクティベーションキーの入力	ライセンス管理ソフトウエアをアクティベーションキーで有効にしている場合 は、発行されたアクティベーションキーを入力し、ライセンスファイルを生成 して有効にします。アクティベーションキーは記憶されます。ライセンスを更 新するには、ダイアログボックスを開いてOKをクリックするだけで、キーを 使用したライセンスが再度有効になります。
ライセンスファイルを追加	ライセンスファイル(.licファイル)を選択します。
ライセンス	現在のすべてのサーバーライセンスファイルの名前が表示されます。必要に応 じて、任意のライセンスを無効にできます。
解除	以前にアクティベートしたサーバーライセンスを無効にして、サーバーソフト ウエアを別のコンピューターで実行できるようにします。
	<mark>注:</mark> ライセンスを無効にすると、ライセンスサーバーが再起動され、現在 接続されているユーザーとの接続が切断されます。
プロダクト	使用可能な製品ライセンスが一覧表示され、製品ごとに現在使用中のライセン ス数が表示されます。
履歴/ログ	
使用履歴を表示	使用履歴ダイアログボックスが開き、次で説明しているように、製品別の使用 統計が表示されます: <u>使用履歴を表示する</u>
デバッグログを表示	デバッグログには設定が記載されており、サーバーの起動で起こるすべてのイ ベントや、サーバーおよび環境に関するその他の情報が記録されます。問題が 発生した際の解決のヒントになります。詳細は、 <u>デバッグログ</u> を参照してくだ さい。
レポートログを表示	レポートログファイルは、サーバーで使用できるライセンス関連の統計データ を含むテキストファイルです。製品別の使用状況などの履歴情報が含まれてい ます。詳細は、 <mark>レポートログ</mark> を参照してください。
アクセス権の設定	アクセス権の設定ダイアログボックスが開き、次の動作を行うことができま す: <u>アクセス権限を設定する</u>
この製品について	ライセンス管理ソフトウエアの現在のバージョンとRLMのバージョンが表示さ れます。
ヘルプ	このヘルプシステムが開きます。
終了	システムメニューを閉じますが、ライセンスサーバーはユーザーが停止しない 限り実行され続けます。

注:ブラウザのインターフェイスで、これらと同じ機能や使用頻度の少ない多くの機能にアクセスすることもできます。<u>ブラウ</u> <u>ザでのサイトプロテクションサーバー管理</u>を参照してください。ブラウザのインターフェイスは、必要に応じてライセンスサー バーをリモートで制御する場合に便利です。

注: ライセンス管理ソフトウエアでは、利用中のライセンスの種類が検出され、再度有効化されるか最新のライセンスファイル が取得されて、深夜にライセンスが自動更新されます。ポート設定は維持されます。



ライセンスサーバーについて通知や問題がある場合は、注意が必要なことがシステムメニューアイコンによって示されま

.....

<u>ライセンスサーバーやライセンスの状態を監視して管理する</u> 使用履歴を表示する <u>アクセス権限を設定する</u> <u>トラブルシューティング</u>

ライセンスサーバーやライセンスの状態を監視して管理する

システムメニューを使用すると、ライセンス管理ソフトウエアの状態確認や管理が簡単に行えます。

再起動コマンドを選択しても、RLMサーバー全体が完全に再起動するわけではなく、クライアントとの接続も切断されま せん。このコマンドを使用すると、すべての設定とライセンスファイルが更新されます。クライアント側で権限を変更し たり、ライセンスファイルをアクティブにしたりした場合も、自動的に再起動されます。

サーバーを停止してから再起動すると、クライアントとの接続が切断されます。

サーバーの状態を確認するには:

ライセンス管理ソフトウエアのシステムメニューを選択します。

コントロールコマンドを使用すると、実行中かどうかに関係なく、現在の状態が表示されます。

ライセンスサーバー(ISV/RLMサーバー)を停止、起動、または再起動するには:

ライセンス管理ソフトウエアのシステムメニューで、**コントロール>ストップ**または**スタート**、あるいは**コントロール> リスタート**を選択します。

使用可能な製品ライセンスのリストと、現在使用中のライセンス数を表示するには:

ライセンス管理ソフトウエアのシステムメニューを選択します。

プロダクトコマンドを使用すると、使用可能な製品がバージョン別に一覧表示されます。リストの括弧内に、使用中のラ イセンス数と使用可能なライセンス数が表示されます。

.....

ライセンス管理ソフトウエアのシステムメニュー

使用履歴を表示する

ライセンス管理ソフトウエアのシステムメニューで、ライセンスの使用状況と使用履歴を監視できます。

使用履歴を表示するには:

1. ライセンス管理ソフトウエアのシステムメニューで、**使用履歴を表示**を選択します。

使用履歴ダイアログボックスが開き、時間の経過に伴うユーザー数のグラフが表示されます。

2. プロダクトリストで製品とバージョンを選択すると、使用履歴が表示されます。

レポートログから取得した使用統計がグラフに表示されます。レポートログを直接参照するには、システムメニューで**履** 歴/ログ>レポートログを表示を選択します。

3. ダイアログボックスを閉じるには、Xをクリックします。

.....

<u>サーバー稼動状況ログ</u> <u>ライセンス管理ソフトウエアのシステムメニュー</u>

アクセス権限を設定する

ルールを作成することによって、アクセス権限を制御します。これらのルールは許可された製品と持ち出し可能な期間のセットであ り、特定のクライアントまたはクライアントグループ、あるいはコンピューターに適用されます。デフォルトでは、すべてのクライ アントにアクセスが付与されています。ルールで例外を設定できますが、この設定は必要に応じて取り消すことができます。

アクセス権限を表示して設定するには:

1. ライセンス管理ソフトウエアのシステムメニューで、アクセス権の設定を選択します。

アクセス権の設定ダイアログボックスが開き、ユーザーグループの権限ルールが一覧表示されます。ルールは、許可され ている製品や予約されている製品のセットで、特定のユーザーまたはコンピューターに適用されます。

パラメータ	説明
ルール	クリックしてルールメニューを開きます。
ルールの追加	ルールの追加/編集ダイアログボックスが開き、権限ルールにルールを追 加できます。
ルールの編集	ルールの追加/編集ダイアログボックスが開き、現在選択しているルール を編集できます。
ルールを削除	現在選択しているルールを削除します。
ルールリスト	既存の権限ルールを一覧表示します。
最大持ち出し日数	ライセンスファイルに従って、ユーザーがモジュールを持ち出せる最大日 数を設定します。 <u>ライセンスの持ち出し</u> を参照してください。
	ライセンスの持ち出しを一切禁止するには、日数を0(ゼロ)に設定しま す。
リストにいないユーザーのライセ ンスサーバーへのアクセス許可/ 拒否	デフォルトでは、すべてのユーザーにライセンスへのアクセスが付与され ており、例外のルールのみが設定されています。この場合は、 許可 が選択 されています。しかし、 拒否 を選択すると状況が逆になり、ルールでアク セスが付与されない限り、すべてのユーザーがライセンスへのアクセスを 拒否されます。

- 2. ダイアログボックスの上部にあるルールメニューで**ルールの追加**を選択してユーザーグループの権限ルールを設定する か、ルール領域を右クリックし、コンテキストメニューから**ルールの追加**を選択します。
- 3. ルールの追加/編集ダイアログボックスが開きます。

パラメータ	説明
ルール名	ルールに名前を付けます。この名前は、ルールのアクセス権限リストに表 示されます。
タイプ	ルールのユーザーを定義する方法を、ユーザー名、コンピューター名、ま たはIPアドレスから選択します(<mark>サーバー構文</mark> を参照)。

ユーザー	サーバーの使用履歴から取得されたユーザー名またはコンピューター名の リストを表示します。最後に使用したユーザーがリストの1行目に表示さ れます(IPアドレスはログから取得できないため、表示されません)。
	リストでユーザー名またはコンピューター名を選択して、その選択対象に 適用するルールを作成し、 追加 をクリックしてユーザーリストに送信しま す。
	ユーザー名、コンピューター名、またはIPアドレスを入力して 追加 をク リックし、リストに追加することもできます。名前にスペースは使用でき ません。
ユーザーリスト	グループに追加されたユーザーが一覧表示されます。ユーザーを削除する には、 ユーザーリスト で項目を選択して 削除 をクリックします。
Vectorworksの最大インスタンス数	ユーザー1人につき実行できるVectorworksのインスタンス数を設定しま す。通常、この値は1です。
Vectorworksの最大インスタンス数 許可プロダクト	ユーザー1人につき実行できるVectorworksのインスタンス数を設定しま す。通常、この値は1です。 リスト内のユーザーが起動を許可されている製品を指定します。
Vectorworksの最大インスタンス数 許可プロダクト すべて/なし	ユーザー1人につき実行できるVectorworksのインスタンス数を設定しま す。通常、この値は1です。 リスト内のユーザーが起動を許可されている製品を指定します。 すべての製品を一度に選択するか、選択解除します。
Vectorworksの最大インスタンス数 許可プロダクト すべて/なし 予約プロダクト	ユーザー1人につき実行できるVectorworksのインスタンス数を設定しま す。通常、この値は1です。 リスト内のユーザーが起動を許可されている製品を指定します。 すべての製品を一度に選択するか、選択解除します。 リストのユーザーに対して、ライセンスのプールから製品を予約します。 それら特定のユーザーのみが、予約されている製品ライセンスへのアクセ スを付与されます。このタイプのルールに複数のユーザーが含まれる場合 は、予約されているライセンスを共有します。

- 4. 「ユーザー」は、ユーザー名、コンピューター名、またはIPアドレスで表すことができます。グループはユーザーのリストで構成されています。ユーザーグループに必要なルールを定義します。たとえば、Vectorworks ArchitectおよびFundamentals製品のみ使用を許可されるユーザーグループもあれば、Vectorworks LandmarkおよびFundamentalsのみ使用できるユーザーグループもあります。製品を選択していない場合、リスト内のユーザーはサーバーにまったく接続できません。ユーザーグループには、ライセンスを予約することもできます。それぞれの状況に応じて、グループごとに個別のルールが必要です。ルール内のユーザーは固有にする必要があります(同じユーザーに2つの異なるルールを設定することはできません)。
- 5. OKをクリックして、アクセス権の設定ダイアログボックスに戻ります。
- 既存のルールを編集するには、ルールを選択してからダイアログボックスの上部にあるルールメニューでルールの編集を 選択するか、ルールをダブルクリックするか、あるいはルールを右クリックしてコンテキストメニューからルールの編集 を選択します。
- 既存のルールを削除するには、ルールを選択してからダイアログボックスの上部にあるルールメニューでルールを削除を 選択するか、ルールを右クリックしてコンテキストメニューからルールを削除を選択します。
- 8. OKをクリックして、アクセス権の設定ダイアログボックスを閉じます。

••••••

<u>ライセンス管理ソフトウエア</u> <u>ライセンス管理ソフトウエアのシステムメニュー</u> <u>サーバーのパスワードを設定する</u>

ブラウザでのサイトプロテクションサーバー管理

通常の操作にはライセンス管理ソフトウエアのシステムメニューを使用することを推奨しますが、Repriseのブラウザインターフェイ スを通じてすべての管理機能にアクセスし、さまざまなライセンス管理業務を行うこともできます。これらの機能にはリモートでア クセスすることもできます。さまざまなサーバー機能へのアクセスは、パスワードファイルで制御します。サーバーのパスワードを 設定するを参照してください。

Repriseソフトウエアには多くのオプションが含まれています。複数の場所から複数のオプションにアクセスできます。オプションの中には、Vectorworksネットワーク版でまったく使用されていないものもあります。

 サーバー管理画面

 サーバー構文

 サーバーオプションを指定する

 サーバーステータス画面

 ISVサーバーの各画面

 サーバーの稼動状況を表示する

 サーバー稼動状況ログ

 ポート番号を変更する

 ライセンス管理ソフトウエアを終了する

 サーバー起動オプション

 サーバーのパスワードを設定する

 RLMオプションを制御する

 Windowsサービスの設定

 トラブルシューティング

サーバー管理画面

ライセンス管理画面(「Reprise License Server Administration」ウインドウ)を開くには:

- ライセンス管理ソフトウエアのシステムメニューでサーバー管理画面ログインアカウントの設定を選択し、アカウントを 設定してログインします。ライセンス管理ソフトウエアのシステムメニュー を参照してください。ログインすると、すべ ての管理機能にアクセスできます。セキュリティ上の理由から、必ずログインする必要があります。
- ブラウザがまだ開いていない場合は、ライセンス管理ソフトウエアのシステムメニューで、Vectorworks Site Protection> サーバー管理画面を開くを選択します(Windowsでは、システムメニューアイコンをダブルクリックして開くこともでき ます)。

あるいは、ライセンス管理ソフトウエアを実行しているマシン上でブラウザを起動します。アドレスに<u>localhost:5054</u>と入 力して確定します。

サーバー機以外のマシンから管理画面を開くには、以下のようにURLとしてIPアドレス等を指定することで操作できます。 http://サーバーマシンのIPアドレス:ホスト番号

3. 管理画面が表示されます。

注:サーバー管理画面にアクセスしたことがなければ、場合により再度ログインする必要があります。

Reprise	Reprise License Server Administration Copyright (c) 2006-2022 Reprise Software, Inc. All Rights Reserved.
Logged in as:	Di Miliaanse Sanvar Administration, ut 5 4
RLM Administration Commands	This web interface is an integral part of the <i>rlm</i> server. If rim is started without any parameters, the web interface runs on port 5054. rim can also be started with the -nows option to disable this web interface.
Choose a command from the list below	rim can be started with the -ws port# option to specify another port number. This tool allows you to perform status and administration functions on the RLM server.
Status	Note: If logins are disabled (see the left column under the Reprise logo), then the license file and options editing functions are not available.
Shutdown Reread/Restart Servers	Choose a command from the list on the left-hand side of the window.
Switch Reporting New Reporting Switch Debuging	Reprise Software, Inc. 3535 Factoria Blvd. SE #550 Bellevue, WA 98006 www.reprisesoftware.com
Edit License Files	info@reprisesoftware.com
Activate License	RLM contains software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit (http://www.openssl.org) Copyright (c) 1998-2008 The OpenSSL Project. All rights reserved. Copyright (c) 1995-1998 Eric Young (eay@cryptsoft.com) All rights reserved.
Diagnostics	Mongoose is an open source embedded HTTP/Websocket/MQTT library for C/C++ @ Cesanta 2023
RLM Manual	https://mongoose.ws
System Info About	Mongoose
Change Password Logout	

管理画面の左ペインの各ボタンで、ライセンス管理ソフトウエアの各機能を使用できます。以下では、主要機能の概要を詳細な説明 へのリンクと共に示します。

ボタン	操作内容	
-----	------	--

Status(ステータス)	RLMサーバーのステータスが表示され、重要なISVサーバー操作の多くにアクセスで きます。詳細は <u>サーバーステータス画面</u> を参照してください。
Shutdown(シャットダウン)	Shutdown License Server画面が表示され、ISVサーバーを終了できます。 <u>ISVサーバー</u> <u>を終了する</u> を参照してください。
	この操作はステータス画面のISV Serversからも行えます。
	<u>サーバー起動オプション</u> でrlmdownコマンドを無効にしている場合、このボタンは 表示されません。
Reread/Restart Servers(リ リード/リスタートサー	Reread/Restart Servers画面が表示され、ライセンスファイルを更新または置き換え できます。 <u>ISVサーバーを再起動する</u> を参照してください。
	この操作はステータス画面のISV Serversからも行えます。
Switch Reportlog(スイッチレ ポートログ)	指定したISVサーバーのレポートログを閉じ、指定した名前の新しいログに書き込 み先を変更します。詳細は次を参照してください: <u>別のレポートログファイルに</u> 切り替える
New Reportlog(ニューレポー トログ)	指定したISVサーバー用に、指定した名前で新しいレポートログを作成します。詳 細は <u>新規レポートログを作成する</u> を参照してください。
Switch Debuglog(スイッチデ バッグログ)	デバッグ情報の記述を開始します。詳細は <u>別のデバッグログファイルに切り替える</u> を参照してください。
Edit License Files(エディット ライセンスファイル)	ライセンスファイルを編集できます。詳細は <u>サーバーのポート番号を変更する</u> を参 照してください。
Activate License(アクティ ベートライセンス)	本ソフトウエアでは使用できません。
Diagnostics(ダイアグノス ティクス)	サーバーが利用中のホストID、ドングル、MACアドレス、ライセンスファイルなど の情報をテキストに書き出します。
RLM Manual(RLMマニュア	RLMのオンラインマニュアルを表示します(英語)。
	<mark>注:</mark> マニュアルの一部は、Vectorworksネットワーク版に対応していません。
System Info(システムイン フォ)	RLMのシステム情報を表示します。
About(アバウト)	RLMサーバーについての情報を表示します(英語)。
Change Password(チェンジパ スワード)	パスワードを設定または変更するか、ログアウトできます。
Logout(ログアウト)	

.....

<u>ISVサーバーの各画面</u>

サーバー構文

サーバーコマンドには共通の書式を使用します(半角スペースは記号で表しています)。

コマンド名_パラメータ1_パラメータ2

- コマンド行はすべて半角で入力し、コマンド名および各パラメータは半角スペースで区切ります(例では半角スペースを」 記号で表しています)。コマンド名またはパラメータの中にスペースを含めることはできません。
- また、タブや改行記号も含めることはできません。各コマンドは別々の行に入力する必要があります。
- パラメータに <>& "の文字は使用できません。
- オプションファイルにコメントを追加するには、行を「#」で始めます。
- 一行の最大文字数は1024字です。
- 大文字/小文字は区別しません。
- ワイルドカード記号(*)を使用できます。この記号は任意の文字を指し、たとえばIPアドレスに使われている場合は、0 ~255のすべての値が当てはまります。
- 半角スペースの含まれているファイルパスは引用符で囲みます。
- GROUP、HOST_GROUP、INTERNET_GROUPコマンドを使用して、類似のユーザー、コンピューター、またはIPアドレスのグ ループに、制限や権限を適用できます。ただし、事前にグループを定義する必要があります。複数のグループを作成でき るほか、同じコマンドを使用していつでも好きな時に既存のグループにメンバーを追加できます。

コマンド	説明	構文
user(ユーザー)	アカウントの制限または権限を設定する ユーザーアカウント名を指定します。	USER_ユーザー名 例:USER_tom
host(ホスト)	アカウントの制限または権限を設定するコ ンピューター名を指定します。Mac では、 「システム環境設定」>「共有」を選択し、 「コンピューター名」の「編集」をクリッ クすると表示される「ローカルホスト名」 を使用します。Windowsでは「コンピュー ター名」を使用します。	HOST_ ホスト名 例:HOST_pc10196
internet(インター ネット)	アカウントの制限または権限を設定するIPア ドレスを指定します。	INTERNET_IP アドレス 例: Internet_172.67.94.13 Internet_172.16.*

サーバーコマンドでは、共通のパラメータを使用してクライアント側のユーザーを定義します。

group(グループ)	複数ユーザーのグループを定義します。	GROUP __ グループ名 __ ユーザー名1 __ ユーザー名2
		例:
		GROUP_engineers_tom_sarah_franz
		GROUP_engineers_paul (paulを既存のエンジニアグルー プに追加します)
		GROUP_architects_laura_cheng_juan_jimenez
host_group(ホスト	複数のコンピューター名のグループを定義し	HOST_GROUP _し ホストグループ名 _し ホスト名1 _し ホスト名2
グループ) 	ます。	例:HOST_GROUP_designers_pc10196_pc10567
internet_group(イ ンターネットグ	複数のIPアドレスのグループを定義します。	INTERNET_GROUP _し インターネットグループ名 _し IPアドレス 1 _し IPアドレス2
レーフ)		例: INTERNET_GROUP_drafting_1.1.1.1_2.2.*.*_3.3.3.3

.....

<u>サーバーオプションを指定する</u> サーバーステータス画面 サーバー管理画面

サーバーオプションを指定する

システム管理者は、モジュールおよびライセンスされたユーザーのオプションを制御できます。たとえば、一部のユーザーには Vectorworksライセンスを持ち出せないようにしたり、あるいは他のユーザーよりも短い期間だけ持ち出せるようにしたりすることが できます。管理者は、レポートログおよびデバッグログファイルのオプションを設定することもできます。

ユーザー権限とモジュールを管理する最も便利な方法は、システムメニューを使用して<u>アクセス権限を設定する</u>ことです。以下で説 明するように、ブラウザインターフェイスを使用することもできますが、この方法は推奨されていません。

注:ソフトウエアの持ち出しを許可しないユーザーが多い場合は、個別に除外するのではなく、INCLUDEALL_ROAMを使用して特定のユーザーのみが持ち出せるようにします。

モジュール、ユーザー、またはログファイルのオプションを指定して編集するには:

1. 管理画面でStatusをクリックします。

サーバーステータスペインが表示されます。

2. ISV Serversの表で、OPTIONS列のvektorwrxをクリックします。

Edit ISV Options画面が表示されます。

3. <u>サーバー構文</u>で説明している構文を使用して、ユーザーオプションを指定または編集します。

注:構文と例では、クライアントまたはクライアントグループの権限を設定するにあたり、ユーザー、ホスト、イン ターネット、グループ、ホストグループ、インターネットグループの区別なく指定できます。

コマンド	説明	構文
roam_max_days(ロー ム_マックス_デイ ズ)	持ち出しの機能を、特定の日数(通常は最 大30日)と特定のモジュールに制限しま す。 持ち出しできないようにするには、マイナ スの値を使用します。	ROAM_MAX_DAYS_持ち出し日数_モジュール名 例:ROAM_MAX_DAYS_3_architect ROAM_MAX_DAYS1_landmark
Exclude(エクスクルー ド)	指定したクライアントに対し、モジュール の使用を制限します。	EXCLUDE _し モジュール _し user _し ユーザー名 例:EXCLUDE _し landmark _u ser _し sam
Include(インクルー ド)	指定していないすべてのクライアントに対 し、モジュールの使用を制限します。	INCLUDE _し モジュール _し group _し グループ名 例:INCLUDE _し spotlight _し group _し designers
Excludeall_roam(エク スクルードオール ローム)	特定のクライアントの持ち出しを制限しま す。	EXCLUDEALL_ROAM_user_名_姓 例:EXCLUDEALL_ROAM_user_susan_rodriguez
Includeall_roam(イン クルードオール_ロー ム)	特定のクライアントの持ち出しを許可しま す。	INCLUDEALL_ROAM_group」グループ名 例:INCLUDEALL_ROAM_group_architects

Reserve(リザーブ)	重要なクライアントのライセンスを予約し ます。	RESERVE ライセンス数 _し モジュール名 _し ユーザー _し ユーザー 名 例:RESERVE ₁ _s potlight _{user} elena RESERVE ₃ _{architect} group _e ngineers
Max(マックス)	クライアント1台当たりにチェックアウト するライセンスの最大数を制限します。	MAX _し ライセンス数 _し モジュール名 _し ユーザー _し 名_姓 例:MAX _し 3 _し landmark _u host_group _u designers
Debuglog(デバッグロ グ)	ISVサーバーのデバッグログを開きます。	DEBUGLOG _、 "ファイルパスファイル名" 例:DEBUGLOG _、 "Log\dlog.txt"
Debuglog +(デバッグ ログプラス)	ISVサーバーごとに異なるデバッグログを 作成し、ログを上書きするのではなく、ロ グ情報を自動的に追加します。起動オプ ションとしても指定できます。サーバー起 動オプションを参照してください。	DEBUGLOG _、 "+ファイルパスファイル名" 例:DEBUGLOG _、 "+Log\dlog.txt"
Nolog in(ノーログイ ン) Nolog out(ノーログア ウト) Nolog denied(ノーロ グデナイド)	ライセンスのチェックイン、チェックアウ ト、または拒否されたライセンスに関する 情報をサーバーがデバッグログに記録しな いように指定します。	NOLOG _. 種類 例:NOLOG _. denied
Reportlog(レポートロ グ)	ライセンスの利用状況に関する情報をログ ファイルに保存します。	REPORTLOG_"ファイルパスファイル名"_種類 Windowsでの例:REPORTLOG_"C: \My_Reports\Reportlog.txt"_detailed Macでの例:REPORTLOG_"My Reports/ Reportlog.txt"_std
Reportlog +(レポート ログプラス)	ISVサーバーごとに異なるレポートログを 作成し、ログを上書きするのではなく、ロ グ情報を自動的に追加します。	REPORTLOG _、 "+ファイルパスファイル名"
Rotate(ロテート)	現在のレポートログを保存して閉じ、新し いログを作成します。	ROTATE_[daily weekly monthly #days] 例:ROTATE_daily

4. Update Optionsをクリックします。

オプションは、RLMソフトウエアと同じ以下のネットワークライセンスフォルダに置かれている*vektorwrx.opt*ファイルに保 存されます:WindowsではProgramData\Vectorworks Site Protectionフォルダ、Macでは/Library/Application Support/ Vectorworks Site Protection/

注:オプションを削除してデフォルトの状態へ戻したい時は、入力したコマンドを削除した後でUpdate Optionsボタンを押してから、ISVサーバーを再起動してください。

<u>サーバーステータス画面</u> サーバー管理画面 レポートログ デバッグログ サーバーのパスワードを設定する RLMオプションを制御する

サーバーステータス画面

アクセス:管理画面のStatusをクリックして、ステータス画面にアクセスします。

説明:この画面から、ライセンス管理ソフトウエアでライセンス管理を行うISVサーバーの各種機能にアクセスできます。

注:これらの機能の多くは、<u>ライセンス管理ソフトウエアのシステムメニュー</u>からアクセスした方が便利です。

Status for "rim" on (port 5053)

RLM software version	v15.2 (build:1)	
RLM comm version	v1.2	
debug log file	_stdout_	
license files	C:\ProgramData\Vectorworks Site Protection\	.lic

rim Statistics	Since Start	Since Midnight	Recent	
Start time	08/09 15:34:12	08/09 15:34:13	08/09 16:34:19	
Messages	4920 (1/sec)	4920 (1/sec)	1315 (1/sec)	
Connections	3936 (0/sec)	3936 (0/sec)	1052 (0/sec)	

RLM server information

RLM server statistics

EDIT rlm Options SHOW rlm Debug Log

ISV Servers											
Name	port	Running	Restarts	Server Status	License Usage	Debug Log	REREAD	OPTIONS	TRANSFER	SHUTDOWN	ACTIVATE
vektorwrx	63437	Yes	0	vektorwrx	vektorwrx	vektorwrx	vektorwrx	vektorwrx	vektorwrx	vektorwrx	vektorwrx

パラメータ	説明
RLM version information(RLMバージョ ンインフォメーション)	RLMソフトウエアとライセンスに関する情報を表示します。
RLM software version(RLMソフト ウエアバージョン)	RLMソフトウエアのバージョンです。
RLM comm version(RLMコムバー ジョン)	クライアント-サーバー間の通信のバージョンです。
debug log file(デバッグログファ イル)	デバッグログファイル名です。
license files(ライセンスファイ ル)	ライセンスファイル名です。
RLM Server Statistics(RLMサーバース タティスティクス)	サーバーの起動時間やその他の通信情報を表示します。サーバーでは、 毎日深夜0時にすべてのライセンスファイルを再読み込みします。
Since Start/Since Midnight/Recent (シンススタート/シンスミッド ナイト/レセント)	各列はそれぞれ、開始時から/本日/30分前からの起動時間を表して います。長時間起動しているサーバーソフトウエアに、各時間の範囲で どのくらいの負荷がかかっているかの目安になります。
Start time(スタートタイム)	各列に対応した時間のスタート時刻を表示します。
Messages(メッセージ)	RLMサーバーに通信されたTCPメッセージの数を表示します。

Connections(コネクション)	RLMサーバーに送信されたコネクションの数を表示します。
EDIT rlmOptions(エディットrlmオプ ション)	RLMオプションファイルを編集します。次を参照してください: <u>RLMオ</u> <u>プションを制御する</u>
SHOW rlm Debug Log(ショウrlmデバッ グログ)	RLMデバッグログの最新の動作を表示します。ここに表示される情報 は、ライセンス管理ソフトウエアのコマンドラインウインドウの情報 の中から、主にRLMサーバーの情報(システム関連の情報)を抜粋した ものです。Vectorworksソフトウエアでは、RLMデバッグログは不要で す。ISVデバッグログが使用されます。
ISV Servers(ISVサーバー)	ライセンス利用状況のデータを示し、ISVサーバーを操作し、ISVサー バーの簡単なステータスを表示します。ライセンス管理機能にもアクセ スできます。ライセンス管理ソフトウエアの各機能は、 <u>ISVサーバーの</u> <u>各画面</u> で詳しく説明しています。
Name(ネーム)	「vektorwrx」は、VectorworksのISVを指します。Vectorworks社はRLMソ フトウエアから、独立系ソフトウエアベンダ(ISV)であると見なされ ます。
port (ポート)	ISVサーバーが使用するTCPポートを表示します。
Running(ランニング)	サーバーソフトウエアが実行中かどうかをYes/Noで示します。
Restarts(リスタート)	サーバーソフトウエアが再起動された回数を表示します。
Server Status(サーバーステータ ス)	サーバーソフトウエアの統計情報やライセンスの状態を表示します。詳 細は <u>ISVサーバーのステータス</u> を参照してください。
License Usage(ライセンスユサー ジ)	クリックすると、現在のライセンス使用状況が表示されます。詳細は <u>ラ</u> <u>イセンス利用状況</u> を参照してください。
Debug Log(デバッグログ)	Vectorworksネットワーク版の最新の動作のログファイルを表示します。 ここに表示される情報は、Vectorworksネットワーク版のコマンドライ ンウインドウの情報を抜粋したもので、主にISVサーバー(ライセンス を使用または返却するクライアント)に関する統計情報が表示されま す。
	- 詳細は <u>ナハックロク</u> を参照してくたさい。
REREAD(リリード)	クリックするとISVサーバーを再起動し、再起動時にライセンスファイ ルとオプションファイルを再読み込みします(ライセンスファイルを再 <u>読み込み/再起動する</u> を参照)。
OPTIONS(オプション)	クリックするとEdit ISV Options画面を表示します。詳細は <u>オプションを</u> <u>表示および編集する</u> を参照してください。
TRANSFER(トランスファー)	本ソフトウエアでは使用できません。

SHUTDOWN(シャットダウン)	ISVサーバーを終了します。 <u>ライセンス管理ソフトウエアを終了する</u> を 参照してください。
	<u>サーバー起動オプション</u> でrlmdown command disabledを設定して Windowsサービスをインストールしている場合、このボタンは表示され ません。
ACTIVATE(アクティベート)	(ドングルではなく)アクティベーションキーを入力して、ライセンス を有効または無効にできます。

.....

<u>ISVサーバーの各画面</u>

ISVサーバーの各画面

これらの機能により便利にアクセスできる方法として、<u>ライセンス管理ソフトウエアのシステムメニュー</u>を使用することを推奨しま す。

ライセンス管理ソフトウエアのこの領域は、アクセスして使用する頻度が高いため、ボタンごとに説明します。一部の機能は他のセ クションでさらに詳しく説明しており、リンクを記載しています。

これらの機能を使用するには、編集権限のあるアカウントにログインしている必要があります。<u>サーバー管理画面</u>を参照してください。

.....

<u>ISVサーバーのステータス</u> <u>ライセンス利用状況</u> <u>デバッグログを表示する</u> <u>ライセンスファイルを再読み込み/再起動する</u> <u>オプションを表示および編集する</u> <u>ライセンス管理ソフトウエアを終了する</u> <u>サーバー管理画面</u>

ISVサーバーのステータス

アクセス:管理画面のStatusをクリックして、ステータス画面にアクセスします。Server Status列のvektorwrxをクリックします。 説明:この画面では、ISVサーバーのステータスを表示します。ライセンスの利用状況とステータスを確認します。

注:これらの機能の多くは、<u>ライセンス管理ソフトウエアのシステムメニュー</u>からアクセスした方が便利です。

vektorwrx software version	v14.1 (build:3)
vektorwrx comm version	v1.2
debug log file	C:\ProgramData\Vectorworks Site Protection\debuglog.txt
report log file	C:\ProgramData\Vectorworks Site Protection\reportlog.txt

ISV version information

vectorwrx statistics

vektorwrx Statistics	Since Start	Since Midnight	Recent
Start Time	08/02 11:46:20	08/02 11:46:24	08/02 11:46:24
Messages	1684 (1/sec)	1684 (1/sec)	1684 (1/sec)
Connections	842 (0/sec)	842 (0/sec)	842 (0/sec)
Checkouts	0 (0/sec)	0 (0/sec)	0 (0/sec)
Denials	0 (0/sec)	0 (0/sec)	0 (0/sec)
License Removals	0 (0/sec)	0 (0/sec)	0 (0/sec)
Current Connections	3		

License pool status

Product	Pool	Ver	Expires	count	soft lim	inuse	res	hostid	timeout	share	checkouts	Show Usage
fundamentals	1	2025	permanent	3	3	0	0		0	None	0	usage
designer	2	2025	permanent	3	3	0	0		0	None	0	usage
renderworks	3	2025	permanent	3	3	0	0		0	None	0	usage
braceworks	4	2025	permanent	3	3	0	0		0	None	0	usage
connect_cad	5	2025	permanent	3	3	0	0		0	None	0	usage
rim_roam	7	1.0	permanent	Uncounted	0	0	0	ANY	0	None	0	usage

License pool status

Enter license password to select license results. Only licenses with matching passwords (or with no passwords) will be displayed above.

License Password:

パラメータ	説明
ISV version Information(ISVバージョン インフォメーション)	ISVサーバーの情報を表示します。
vektorwrx software version (vektorwrxソフトウエアバー ジョン)	ISVサーバーのバージョンです。

vektorwrx comm version (vektorwrxコムバージョン)	クライアント-サーバー間の通信のバージョンです。
debug log file(デバッグログファ イル)	デバッグログファイル名です。
report log file(レポートログファ イル)	レポートログファイル名です。
vektorwrx statistics (vektorwrxスタ ティスティクス)	ライセンス管理ソフトウエアの開始時刻と通信情報を表示します。ライセン ス管理ソフトウエアは、毎日深夜0時にすべてのライセンスファイルを再読 み込みします。詳細は <u>サーバーの稼動状況を表示する</u> を参照してください。
Since Start/Since Midnight/ Recent(シンススタート/シンス ミッドナイト/レセント)	各列はそれぞれ、開始時から/本日/30分前からの起動時間を表していま す。長時間起動しているサーバーソフトウエアに、各時間の範囲でどのくら いの負荷がかかっているかの目安になります。
Start time(スタートタイム)	各列に対応した時間のスタート時刻を表示します。
Messages(メッセージ)	ISVサーバーに通信されたTCPメッセージの数を表示します。
Connections(コネクション)	ISVサーバーに送信された接続(コネクション)の数を表示します。
Checkouts(チェックアウト)	ライセンスが使用された回数を表示します。
Denials(デナイアル)	ライセンスの使用を拒否した回数を表示します(ISVオプションで設定する と、ライセンスの使用を拒否できます)。
License Removals(ライセンスリ ムーバル)	ユーザーが使用中のライセンスを強制的に削除し、Vectorworksサーバーソフ トウエアに返却させた回数を表示します。
Current Connections(カレントコ ネクション)	現在接続中のライセンス数を表示します。
License pool status(ライセンスプー ルステータス)	
Product(プロダクト)	Reprise Software社の内部で使用するライセンス持ち出し設定ファイル rlm_roamを表示します。
Pool (プール)	ライセンスプール番号です。
Ver (バージョン)	製品バージョンを表示します。
Expires(エクスパイア)	ライセンスの有効期限を表示します。「Permanent」は有効期限のないライ センスです。
count(カウント)	使用可能なライセンス数から、その製品で予約されているライセンスを引い た数を表示します。

soft lim(ソフトリミット)	本ソフトウエアでは、カウント値と予約されているライセンス数の合計(使 用可能なライセンスの総数)を表示します。
inuse(インユース)	現在使用中のライセンス数を表示します。
res(リザーブド)	予約されているライセンス数を表示します。
roam (ローム)	現在持ち出し中のライセンス数を表示します。ライセンスを持ち出ししてい るクライアントがいない場合は、項目が表示されません。
hostid(ホストID)	ライセンスがドングルなどでハードウエア保護されているかを表示します。 本ソフトウエアでは、サーバーソフトウエア自体がドングルで保護されてい るため、ANYと表示されます。
share (シェア)	ライセンスが共有されているかどうか(1台のマシン上で同じユーザーがい くつも開いているか)が表示されます。本ソフトウエアでは、ライセンスの 共有機能は許可されていないため、Noneと表示されます。同じユーザーが同 じマシン上で複数のVectorworksを開く場合、共有機能は許可されていないた め、複数のライセンスが使用されます。
checkouts(チェックアウト)	ライセンスがチェックイン/チェックアウトされた回数を表示します。
Show Usage(ショウユサージ)	クリックすると、使用者データを表示します。詳細は <u>ライセンス利用状況</u> を 参照してください。
Licesnse Password(ライセンスパス ワード)	本ソフトウエアでは使用できません。
Refresh(リフレッシュ)	このページを再読み込みします。
BACK(バック)	前の画面に戻ります。

.....

<u>ISVサーバーの各画面</u>

ライセンス利用状況

アクセス:ライセンス管理ソフトウエアのシステムメニューで、**ライセンス**を選択します。製品ごとに現在使用中のライセンスと使 用可能な数が表示されます。

あるいは、管理画面のStatusをクリックして、ステータス画面にアクセスします。License Usage列のvektorwrxをクリックします。

説明:この画面で、ライセンスの利用状況を確認します。現在使用されている製品ライセンスや使用中のユーザー、ホスト名でライ センスをフィルタし、条件に合致するものを一覧表示させることができます。

注:これらの機能の多くは、<u>ライセンス管理ソフトウエアのシステムメニュー</u>からアクセスした方が便利です。これらの機能を 使用するには、編集権限のあるアカウントにログインしている必要があります。<u>サーバー管理画面</u>を参照してください。

e Product/User/Host Data entered in an	y of these fields will filter the list of licenses returned.	iyed.
nly licenses with mate	hing passwords (or with no passwords) will be display:	ed.
ISV:	vektorwrx 🗸	
Product:		
User:		
Host:		
License Password:		

ISV	「vektorwrx」を選択すると、Vectorworksネットワーク版で利用可能なライセン スの使用状況がわかります。
Product(プロダクト)	fundamentals、architectのように製品名を入力すると、一覧表示させるライセン スを検索できます。
User(ユーザー)	ユーザー1, ユーザー2のようにユーザー名をカンマで区切って入力すると、ライ センスをユーザー別に検索できます。
Host(ホスト)	IPアドレスやlocalhostなど、ホスト名を入力すると、一覧表示させるライセンス を検索できます。
Licesnse Password(ライセン スパスワード)	本ソフトウエアでは使用できません。
GET License Usage(ゲットラ イセンスユサージ)	選択した検索基準に基づいてライセンス利用状況の統計情報を表示します。
BACK(バック)	前の画面に戻ります。

..... <u>サーバーの稼動状況を表示する</u> サーバー稼動状況ログ

パラメータ
<u>ISVサーバーの各画面</u>

デバッグログを表示する

アクセス:ライセンス管理ソフトウエアのシステムメニューで、**履歴/ログ>使用履歴を表示**を選択します。

あるいは、管理画面のStatusをクリックして、ステータス画面にアクセスします。Debug Log列のvektorwrxをクリックします。

説明:ライセンス管理ソフトウエアのコマンドラインウインドウの情報の中から、ISVサーバーに関する最新の情報を20行表示しま す。主にクライアントのVectorworksが、ライセンスを使用または返却した記録が表示されます。

注:これらの機能の多くは、<u>ライセンス管理ソフトウエアのシステムメニュー</u>からアクセスした方が便利です。デバッグログを 作成しなければ、データを記録できません。<u>別のデバッグログファイルに切り替える</u>を参照してください。

Refreshをクリックして、デバッグログ情報を更新します。BACKをクリックして、前の画面に戻ります。

Recent Debug Log Entries

ISV vektorwrx Debug Log, last 20 lines

08/02 11:46 (vektorwrx) RLM License Server Version 14.1BL3 for ISV "vektorwrx" 08/02 11:46 (vektorwrx) Server architecture: x64_w4 Copyright (C) 2006-2020, Reprise Software, Inc. All rights reserved. RLM contains software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit (http://www.openssl.org) Copyright (c) 1998-2008 The OpenSSL Project. All rights reserved. Copyright (c) 1995-1998 Eric Young (eay@cryptsoft.com) All rights reserved. 08/02 11:46 (vektorwrx) Using options file vektorwrx.opt 08/02 11:46 (vektorwrx) Report log started on C:\ProgramData\Vectorworks Site Protection\reportlog.txt 08/02 11:46 (vektorwrx) Switching debug log to C:\ProgramData\Vectorworks Site Protection\debuglog.txt 08/02 11:46 (vektorwrx) 08/02 11:46 (vektorwrx) Server started on compared (hostid: license=15869) for: 08/02 11:46 (vektorwrx) fundamentals designer renderworks braceworks 08/02 11:46 (vektorwrx) connect_cad rlm_roam 08/02 11:46 (vektorwrx) 08/02 11:46 (vektorwrx) License files: 08/02 11:46 (vektorwrx) C:\ProgramData\Vectorworks Site

•••••

<u>デバッグログ</u> <u>ISVサーバーの各画面</u>

ライセンスファイルを再読み込み/再起動する

アクセス:ライセンス管理ソフトウエアのシステムメニューで、**コントロール>リスタート**を選択します。

あるいは、管理画面のStatusをクリックして、ステータス画面にアクセスします。REREAD列のvektorwrxをクリックします。

説明:<u>ISVサーバーを再起動する</u>と同様に、ライセンスファイルを再度読み込んで再起動できます。ライセンスファイルを置き換えたり、オプションファイルを読み込んだりすることもできます。

注:これらの機能の多くは、<u>ライセンス管理ソフトウエアのシステムメニュー</u>からアクセスした方が便利です。

Reread/Restart Servers

If ISV is specified as "all" or blank, all ISV servers will reread licenses

ISV: vektorwrx 🗸

REREAD/RESTART

.....

<u>ISVサーバーの各画面</u>

オプションを表示および編集する

アクセス:管理画面のStatusをクリックして、ステータス画面にアクセスします。OPTIONS列のvektorwrxをクリックします。

説明:この画面で、ISVサーバーのオプションを制御します。ライセンス設定を指定して、レポートログの出力を制御できます。<u>サー</u> <u>バーオプションを指定する</u>および<u>レポートログの設定</u>を参照してください。

注:これらの機能の多くは、<u>ライセンス管理ソフトウエアのシステムメニュー</u>からアクセスした方が便利です。

ISV vektorwrx Options # Access permissions INTERNET GROUP Rule1 EXCLUDE architect INTERNET_GROUP Rule1 EXCLUDE designer INTERNET_GROUP Rule1 EXCLUDE fundamentals INTERNET GROUP Rule1 EXCLUDE landmark INTERNET GROUP Rule1 EXCLUDE spotlight INTERNET_GROUP Rule1 EXCLUDE third party1 INTERNET GROUP Rule1 EXCLUDE third party2 INTERNET GROUP Rule1 EXCLUDE third party3 INTERNET GROUP Rule1 EXCLUDE third_party4 INTERNET_GROUP Rule1 EXCLUDE third party5 INTERNET_GROUP Rule1 RESERVE 1 fundamentals INTERNET_GROUP Rule1 ROAM MAX DAYS 30 fundamentals # Place any custom configuration here REPORTLOG "+C:\ProgramData\Vectorworks Site Protection\reportlog.txt" DEBUGLOG "C:\ProgramData\Vectorworks Site Protection\debuglog.txt"

Update Options

Cancel

.....

<u>ISVサーバーの各画面</u>

サーバーの稼動状況を表示する

ライセンス管理ソフトウエアの稼動状況が、複数の表に一覧表示されます。RLM statistics(ウェブサーバーの統計)、ISV statistics (vektorwrxの統計)、現在のライセンス利用状況の統計を確認できます。

注:これらの機能の多くは、ライセンス管理ソフトウエアのシステムメニューからアクセスした方が便利です。

RLM Statistics

アクセス:管理画面のStatusをクリックします。RLMサーバー情報とサーバー統計情報が表示されます。

説明:RLMサーバー全体の稼動時間と通信状態が表示されます。

ISV Statistics

アクセス:管理画面のStatusをクリックして、ステータス画面にアクセスします。Server Status列のvektorwrxをクリックします。

説明:vektorwrxの統計には、ISVサーバーの負荷情報が表示されます。詳細は<u>ISVサーバーのステータス</u>を参照してください。

ライセンス稼動状況

アクセス:管理画面のStatusをクリックして、ステータス画面にアクセスします。License Usage 列の vektorwrxをクリックします。

あるいは、管理画面の**Status**をクリックして、ステータス画面にアクセスします。Server Status列のvektorwrxをクリックし、License Pool領域で、Show License Usage列の**Usage**をクリックします。

説明:<u>ライセンス利用状況</u>で説明しているように、使用中のライセンスが表示されます。

Get License Usage

If the Product/User/Host fields are all blank, then all licenses in use will be displayed.

ISV:	vektorwrx 🛩	
Product:		
User:		
Host		
License Password:		

Reprise License Server Administration License status for ISV vektorwrx

GET License Usage

BACK

Product	Post	Ver	user	host	PID	req ver	# lic	# res	Outtime	In (hold) time	Click to REMOVE	
meor_mh	1	1.0	laka kati ya k	teres recented	1893	1.0	1	0	01/23 16:39	None	Remove	
raon_mh	1	1.0	later stands on the	times necessory	1893	1.0	1	0	01/23 16:39	None	Remove	
dm_roam	1	1.0	lan at a directly	teneral meconologie	1993	1.0	1	0	01/23 16:39	None	Remove	
rtn_roam	1	1.0	land and party	teneta manpolinoa	1893	1.0	1	0	01/23 16:39	None	Remove	
men_mh	1	10	tak at a kinada	testa nacionicos	1993	1.0	1	0	01/23 16:39	None	Remove	
fundamentals	2	21:3	ton of and party	teneta macanchoa	0	21531	1	0	01/22 13:30	01/24 00:00	Remove	
tundamentals	2	2123	-	Service when:	4333	21231	1	0	01/23 16:11	None	Remove	
fundamentals	2	2123	late stands on the	tents recentros	1993	2123	1	0	01/23 16:39	None	Remove	
spotlight	3	21:3	later of an Arrowski	teate necessions	0	21231	1	0	01(22 13:30	01/24 00:00	Remove	
spotlight	з	513	-	Share when:	4000	21231	1	0	01/23 16:11	None	Remove	
spotlight	3	2123	Lot of additional to	teneral meconologie	1893	21231	1	0	01/23 16:39	None	Remove	
archited	-4	21:3	(analyzek) with	tenana managemboar	0	21231	1	0	01/22 13:30	01/24 00:00	Remove	
architect	4	513	-	Service when:	4033	21231	1	0	01/23 16:11	None	Remove	
archited	4	21.73	lanataski pale	tente necesione	1893	21231	1	0	01/23 16:39	None	Remove	
landmark	5	21:3	lated and party	teneral managements	0	2123	1	0	01/22 13:30	01/24 00:00	Remove	
landmark	5	21.3	-	Shaha when	4999	2123	1	0	01/23 16:11	None	Remove	
landmark	5	2123	lakataki yafe	teneral mecanologie	1893	21231	1	0	01/23 16:39	None	Remove	
renderworks	6	2173	and the second se	teres recentrols	0	21:3	1	0	01/22 13:30	01/24 00:00	Remove	
renderworks	6	2123	-	terata when	4993	2123	1	0	01/23 16:11	None	Remove	
renderworks	6	2123	lated and parts	teneral mercentrical	1893	2123	1	0	01/23 16:39	None	Remove	

パラメータ	説明
Product(プロダクト)	モジュール名です。
Pool (プール)	プール番号です。
Ver (バージョン)	製品バージョンです。
User(ユーザー)	ユーザー名を表示します。
host (ホスト)	ライセンスを使用しているホスト名を表示します。
PID(プロダクトID)	プロダクトIDを表示します。
reqver(リクエストバージョ ン)	クライアントが要求したVectorworksのバージョンです。
# lic(#ライセンス)	各ユーザーが使用しているライセンスの数を表示します。
#res(#リザーブド)	予約されたライセンスの数を表示します。
Out time(アウトタイム)	ライセンスの使用開始日時を表示します。
In (hold) time(イン(ホール ド)タイム)	(ライセンスを持ち出している場合に)ライセンスの返却予定日を表示します。

Click to REMOVE(クリック トゥリムーブ)	使用中のライセンスをライセンス管理ソフトウエアに返却します。 この操作はネットワーク接続しているライセンスに対して有効です。持ち出し中 のライセンスに対しては動作しません。
	<mark>注:<u>サーバー起動オプション</u>でrlmdown command disabledを設定してWindows</mark> サービスをインストールしている場合、このボタンは表示されません。

.....

<u>サーバー管理画面</u>

サーバー稼動状況ログ

レポートログファイルは、サーバーで使用できるライセンス関連の統計データを含むテキストファイルです。モジュールごとの利用 状況など、デバッグログより詳しい履歴情報が含まれています。利用統計を取るのに有効です。

デバッグログは、サーバーコマンドの全データをファイルに書き出します。デバッグログは、ISVサーバーのログ(ライセンス関連のログデータ)で構成されています。サーバーの不具合に関する情報も含まれています。

注:デバッグログのOUTはクライアントがライセンスを使用中であることを示し、INはクライアントソフトウエアが終了して、 ライセンスがサーバーに返却されたことを示します。

.....

<u>レポートログ</u> <u>デバッグログ</u>

レポートログ

レポートログでサーバーの統計情報を取得します。レポートログには任意の名前を付けて、サーバーマシンの任意の場所に置くこと ができます。ただし、事前にフォルダを作成しておく必要があります。ログの種類を、detailed、standard(std)、またはsmallに設定 できます。種類を指定しない場合は、standardログが作成されます。standardでは、一般的なクライアントのライセンス情報が一覧表 示されます。smallには最小限のライセンス接続情報のみが含まれ、detailedにはクライアントのOSや日付などの詳細が含まれます。 ログをLog File Converter(ログファイルコンバータ)と共に使用して、さらなるデータ解析を行うには、stdまたはdetailedを選択しま す。

注: ライセンス管理ソフトウエアのシステムメニューで**履歴/ログ>使用履歴を表示**を選択すると、使用履歴がグラフィック表示されます。

レポートログの設定

インストール時にレポートログが作成されます。デフォルトではProgram Dataフォルダに保存されます。

レポートログを開くには:

1. ライセンス管理ソフトウエアのシステムメニューで、**履歴/ログ>レポートログを表示**を選択します。

あるいは、管理画面のStatusをクリックします。OPTIONS列のvektorwrxをクリックします。

Edit ISV Options画面が表示されます。

Edit ISV Options

This form edits the ISV options. When you are finished, select "Update Options" if you want to save your changes on the server. Select "Cancel" if you want to discard your changes. If you want the server to use these options immediately, select "REREAD/RESTART" for this ISV on the status page. NOTE: The options file is NOT LOCKED while you are doing this edit, so if more than one user updates the file, one set of changes will be lost.

ISV vektorwrx Options

<pre># Place any custom configuration here REPORTLOG "+C:\ProgramData\Vectorworks Site Protection\reportlog.txt" DEBUGLOG "C:\ProgramData\Vectorworks Site Protection\debuglog.txt"</pre>	
	//

Update Options

Cancel

2. ISV vectorwrx Optionsフィールドに以下のコマンドを入力します。

コマンド	説明	構文
------	----	----

REPORTLOG(レ ポートログ)	レポートログ(small、std、またはdetailed)の 場所、ファイル名、形式、種類を設定しま す。ファイルパスは相対パスでも絶対パスで も指定できます。相対パスを使用する場合、 現在のフォルダはライセンス管理ソフトウエ アのインストールフォルダです。	REFORTLOG_"ファイルパスファイル名"」出力の種類 Windowsでの例:REPORTLOG_"C: \My_Reports\Reportlog.txt"_detailed Macでの例:REPORTLOG_"My_Reports/ Reportlog.txt"_std
	構文に+を追加すると、既存のログファイルは 上書きされません。	REPORTLOG __ ``+ファイルパスファイル名″ _」 出力の種類

- 3. Update Optionsボタンをクリックします。
- 4. 「vektorwrx options file written.」というメッセージが表示されます。**Back to Status**ボタンをクリックして、ステータス画面 に戻ります。
- 5. **Reread/Restart Servers**をクリックして、ISVサーバーを再起動します。ISVサーバーを再起動すると、指定した場所にログ ファイルが作成されます。
 - RLMサーバーを再起動すると、既存のログファイルが上書きされます。RLMサーバーを再起動する前にログファイルの バックアップを作成するか、またはREPORTLOG構文に+を追加してログファイルが上書きされないようにします。
 - RLMオプションを設定して、レポートログにライセンスのチェックイン、チェックアウト、拒否を記録するかどうかを 制御できます。RLMオプションを制御する

別のレポートログファイルに切り替える

使用中のレポートログから、別のログファイルを指定して切り替えることができます。レポートログを切り替えるには、新しいレ ポートログを事前に用意しておく必要があります。

1. 管理画面のSwitch Reportlogをクリックします。

Switch Reportlog For License Server画面が表示されます。

Switch Reportlog For License Server

This command will close the current report log file for the specified ISV server (if one exists), and continue logging into the new file name specified.

ISV:	vektorwrx	~	
File:			

SWITCH REPORT LOG

- 2. ISVリストでvektorwrxを選択します。
- 3. Fileに、ログが置かれているファイルパスをファイル名を含めて入力します。
- 4. SWITCH REPORT LOGボタンをクリックします。

レポートログが別のファイルに切り替わります。

新規レポートログを作成する

現在出力中のレポートログファイルを別名保存し、元のファイルでログ取得を続けることができます。バックアップファイルを作成 するのに便利です。

注:ROTATEコマンドは、バックアップのログファイルを自動的に作成します。運用状況によっては、ログファイル容量が増える 可能性があります。定期的にバックアップすると、ファイルの容量を抑えることができます。詳細は<u>サーバーオプションを指定</u> <u>する</u>を参照してください。

1. 管理画面のNew Reportlogをクリックします。

New Reportlog For License Server画面が表示されます。

New Reportlog For License Server

This command will move the current report log file contents to the new file specified, and continue logging into the original file name. This command is useful for log file rotation.

ISV:	vektorwrx	~
File:		

MOVE DATA TO NEW LOGFILE

- 2. ISVリストでvektorwrxを選択します。
- 3. Fileに、バックアップログを置くファイルパスをファイル名を含めて入力します。
- 4. MOVE DATA TO NEW LOGFILEボタンをクリックします。

現在のレポートログファイルの内容が、指定したバックアップログに保存されます。また、現在のレポートログにログ内 容の記述が続けられます。

レポートログ情報を使用して統計分析を行う

レポートログはテキストファイルで作成されますが、ファイルコンバータユーティリティのLog File Converterを使用して、Excel形式 に変換できます。

ログファイルを変換すると、割り当てられた期間内に実行されている各製品のライセンス数を確認したり、サーバーの統計情報に関 する計算を行ったりできます。こうした情報は、管理者にとって有益な基準データとなります。

レポートログを変換するには:

1. LogFileConverterを参照します。

Windowsでは、Log File Converterはライセンス管理ソフトウエアのフォルダ内に置かれています。Macでは、Log File Converterはパッケージファイル内に置かれています。ファイルを右クリックして**パッケージの内容を表示**を選択し、 Contents>MacOSに移動してLogFileConverter.appを探します。 2. Log File Converter.app (Mac) またはLogFileConverter.exe (Windows) をダブルクリックします。

Log File Converterユーティリティが開きます。

- Select log fileをクリックして、RLM log fileダイアログボックスを開きます。レポートログファイルを指定します。 3.
- Save excel fileをクリックして、Excel fileダイアログボックスを開きます。変換したファイルを保存する場所とファイル名を 4. 指定します。
- 5. Convertボタンをクリックして、テキストファイルを、Excelなど一般的なスプレッドシートプログラムで使用できるファイ ルに変換します。
- 6. 変換が完了したら、QuitボタンをクリックしてLog File Converterを閉じます。

作成されたExcelファイルを開いて、グラフの作成やさまざまな解析に使用できます。

L		~	U	U U	U	L		0			0	IX.	L	111	14
	1	09/05/202	14:41:45												
	2	Date	Version	Product	Seats	0:00 - 1:00	1:00 - 2:00	2:00 - 3:00	3:00 - 4:00	4:00 - 5:00	5:00 - 6:00	6:00 - 7:00	7:00 - 8:00	8:00 - 9:00	9:00 - 10:0
	3	09/05/202	2025	architect	2	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*
ſ	4		2025	designer	2	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*
	5		2025	fundamentals	2	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*
	6		2025	renderworks	2	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*
Γ	7	00/05/202	14-50-45												

変換されたスプレッドシートファイルには、次の情報が含まれています。

パラメータ	説明
Date	統計が生成された日付です。
Version	Vectorworksのバージョンです。
Product	Vectorworksのモジュール名です。
Seats	モジュールごとに使用可能なライセンスの数です。
(時刻表示)	クライアントが起動すると、使用中のライセンス数が増加します。このパラメータには、 時間帯ごとに使用されているライセンスの最大数が表示されます。
	 1日の途中でライセンスを更新し、特定のモジュールが利用できなくなると、使用できない時間帯はアスタリスク(*)で示されます。翌日の統計値には表示されません。
	 1日の途中でライセンス数を変更すると、その日の終わり(日付が変わる時点)に新しい値が反映されます。
Borrow	1日の終わり(日付が変わる時点)に持ち出されているライセンスの数を表示します。

......

<u>サーバー稼動状況ログ</u>

デバッグログ

デバッグログには設定が記載されており、サーバーの起動で起こるすべてのイベントや、サーバーおよび環境に関するその他の情報 を記録します。問題が発生した際の解決のヒントになります。インストール時にデバッグログが自動的に作成されます。デフォルト ではProgram Dataフォルダに保存されます。

デバッグログを開く

ライセンス管理ソフトウエアのシステムメニューで、**履歴/ログ>使用履歴を表示**を選択します。

あるいは、Status画面でSHOW rlm Debug Logをクリックします。

別のデバッグログファイルに切り替える

デバッグログを作成したら、サーバーを終了せずに、使用中のデバッグログから別のログファイルを指定して切り替えることができ ます。

注:デバッグログのデータを記録するには、最初にコマンドプロンプトまたはターミナルでログを作成する必要があります。

1. 管理画面のSwitch Debuglogをクリックします。

Swich Debug Log For License Server画面が表示されます。

Switch Debug Log For License Server

Both rlm and all the ISV servers begin logging debug information to standard output. This command will switch the debug log of *one* server to a new file. You should *not* attempt to send the output of multiple servers to the same file, as this will result in unpredictable behavior.

SWITCH DEBUG LOG

- 2. ISVリストでvektorwrxを選択します。
- 3. Fileに、ログが置かれているファイルパスをファイル名を含めて入力します。
- 4. SWITCH DEBUG LOGボタンをクリックします。

デバッグログが別のファイルに切り替わります。

<u>デバッグログを表示する</u> サーバー稼動状況ログ

ポート番号を変更する

サーバーのポート番号を変更する

まれに、ライセンス管理ソフトウエアで使用するポート番号を変更する必要があります。たとえば、別のアプリケーションですでに デフォルトのポート番号を使用していることがあります。ポート番号はインストール時に簡単に変更できます。これを行わなかった 場合は、ライセンスファイル(.lic)を編集してポート番号を変更してください。

注:ライセンスファイルの編集には、十分な注意が必要です。

1. 管理画面のEdit License Filesをクリックします。

注:この機能にアクセスするには、ログインしている必要があります。

Edit license file画面が表示されます。

Edit license file

Please select the license file to edit, or "create new file"

License File to Edit: C:\ProgramData\Vectorworks Site Protection

Edit License File

Cancel

- 2. License File to Editリストで、編集したいライセンスファイルを選択します。
- 3. Edit License Fileボタンをクリックします。

Edit license file画面が表示されます。以下に、ライセンスファイルの例を示します。

HOST XXXXXXXXXXX license=XXX 5053 ISV vektorwrx LICENSE vektorwrx fundamentals 2025 permanent 3 max_roam=30 issued=6-jul-2023 options=model=floating _ck=XXXXXXXX sig="XXXXXX"

- 5053: RLMサーバーのポート番号です。デフォルト値は5053です。クライアントとの接続に必要なポートです。
- ISV vektorwrx: 内部的に使用しているISVサーバーのポート番号を指定するパラメータです。デフォルト設定では空いているポートを自動的に割り当てます。
- 4. ポート番号を変更するには、以下を入力します。ISV vektorwrx port=nnnn (nnnhは希望するポート番号)

注:他の箇所は編集しないでください。ライセンス管理ソフトウエアが起動しなくなる恐れがあります。

- 5. Update License Fileボタンをクリックして、変更した内容を保存します。
- 6. ライセンス管理ソフトウエアを再起動します。<u>RLMサーバーを終了する</u>を参照してください。

バージョンアップした場合、またはFundamentalsライセンスやプラグインモジュール(Renderworks、Architectモジュール、Landmark モジュール、Spotlightモジュール、Design Suiteモジュール)を追加購入した場合などは、古いライセンスファイルを削除し、新しく 入手したライセンスファイルと入れ替えてから、必要に応じて適宜編集してご利用ください。

ライセンスファイルの置き換えを行う場合は、以下にご注意ください。

* ライセンスの持ち出し中はライセンス条件を変更できません。持ち出されているライセンスをすべて一旦回収してから(返却させ てから)、作業を行ってください。

管理画面のポート番号を変更する

管理画面にはブラウザでアクセスし、デフォルトのポート番号5054を通じて情報が表示されます。ポート番号5054がすでに別のアプ リケーションに割り当てられているか、他に何らかの理由がある場合は、デフォルトのポート番号を変更できます。

注:Windowsサービスで起動する場合(Windows)は、サービス設定でポートを変更できます。詳細は<u>Windowsサービスを停止</u> <u>する</u>を参照してください。

- 1. ライセンス管理ソフトウエアを終了します。RLMサーバーを終了するを参照してください。
- 2. コマンドプロンプト(Windows)またはターミナル(Mac)を起動します。
- 3. ライセンス管理ソフトウエアのフォルダ(Windows)または/Library/PrivilegedHelperTools/com.vectorworks.rlm(Mac)に移 動します。
- 4. 下記のコマンドを入力してEnterキーを押し、新しいポート名でRLMサーバーを再起動します。

Windows: rlm.exe -ws nnnn (nnnnはポート番号)

Mac:./rlm -ws nnnn (nnnnはポート番号)

この起動オプションは、サーバーを起動するたびに指定する必要があります。

.....

<u>サーバー管理画面</u> サーバー起動オプション

ライセンス管理ソフトウエアを終了する

ISVおよびRLMサーバーを終了する最も便利な方法は、 <u>ライセンス管理ソフトウエアのシステムメニュー</u>の**コントロール**コマンドで 操作することです。または、管理画面のReread/Restart Serversをクリックします。

RLMサーバーとISVサーバーは、別の方法で個別に終了できます。通常、終了および再起動する可能性があるのは、ISVサーバーだけ です。

動作に問題があるなど、完全に終了する場合は、ISVサーバーを終了させた後にRLMサーバーを終了させてください。

注: Vectorworksクライアントはサーバーに定期的に(10秒間隔で)自動接続し、接続確認を行います。サーバーが起動していな い場合は、接続に失敗したことがクライアントに通知されます。開いているすべてのファイルを保存した後、Vectorworks製品が 自動的に終了します。モジュールまたはライセンスを持ち出し中の場合は、ISVサーバーを終了しても持ち出し中のクライアント には影響しません。ただし、ISVサーバーが起動していないと、持ち出し期限前にライセンスを返却できません。

.....

<u>ISVサーバーを終了する</u> RLMサーバーを終了する

ISVサーバーを終了する

ISVサーバーを終了するには:

1. ライセンス管理ソフトウエアのシステムメニューで、Control>Stopを選択します。

または、管理画面のShutdownをクリックします。

Shutdown License Server画面が表示されます。

Shutdown License Server

If *ISV* is specified as "all" or blank, all ISV servers will be shutdown. Note that you cannot shut down rlm (the process running this webserver) with this command.

ISV: vektorwrx 🗸

SHUT DOWN SERVER

2. SHUT DOWN SERVERボタンをクリックします。ISVサーバーが終了します。

終了後も、管理画面からさまざまなタスクを行うことができます。

ISVサーバーを再起動する

ライセンスファイルが変更されたか、オプションが追加または削除された場合は、ライセンスファイルを再読み込みしてオプション を更新できます。ISVサーバーを終了した場合は、再起動できます。

注:ISVサーバーは、毎日深夜0時にすべてのライセンスファイルを自動的に再読み込みします。

現在のライセンス情報を再読み込みするか、またはISVサーバーを再起動するには:

1. ライセンス管理ソフトウエアのシステムメニューで、Control>Restartを選択します。

または、管理画面のReread/Restart Serversをクリックします。

Reread/Restart Servers画面が表示されます。

Reread/Restart Servers

If ISV is specified as "all" or blank, all ISV servers will reread licenses

ISV: vektorwrx V

REREAD/RESTART

2. ISVドロップダウンリストで「vektorwrx」を選択し、REREAD/RESTARTボタンをクリックします。

ISVサーバーが実行中の場合は、ライセンス情報を再読み込みします。ISVサーバーを終了した場合は、再起動されます(この時にライセンスファイルが再読み込みされます)。

注:ISVドロップダウンリストで「-all」を選択すると、ライセンス管理ソフトウエアだけでなく、Reprise License Managerで管理しているすべてのソフトウエアが再起動されます。

.....

<u>RLMサーバーを終了する</u>

RLMサーバーを終了する

ISVおよびRLMサーバーを終了する最も便利な方法は、 <u>ライセンス管理ソフトウエアのシステムメニュー</u>の**コントロール**コマンドで 操作することです。あるいは、以下の手順に従います。

通常、RLMサーバーを終了する必要はありません。システムが不安定な場合にのみ終了してください。

注:最初にISVサーバーを終了します。

Mac

ターミナルウインドウがアクティブの場合は、ウインドウ上でCtrl + Cキーを押すとプロセスが終了します。その他、アクティビティ モニタを利用して終了することもできます。

アクティビティモニタを利用してRLMサーバーを終了させるには:

- 1. ISVサーバーを終了します。
- 2. **アプリケーション>ユーティリティ**を選択して、アクティビティモニタを起動します。



- 3. プロセスリストでrlmを選択します。
- 4. プロセスの終了をクリックします。終了したいプロセスを確認して、終了をクリックします。

Windows

サーバーをWindowsサービスに登録してインストールした場合は、<u>Windowsサービスを停止する</u>を参照して、Windowsサービスを終 了します。 ライセンスサーバーをWindowsサービスに登録してインストールしていない場合は、DOSプロンプト上でCtrl+Cキーを押すとプロセ スが終了し、プロンプト画面が閉じます。

デバッグログの作成時またはポート番号の変更時にコマンドプロンプトでサーバーを起動した場合は、タスクマネージャに移動して プロセスを終了するか、コマンドプロンプトで次のコマンドを実行してプロセスを終了します。

./rlmutil rlmdown RLM

RLMサーバーを再起動する

ISVおよびRLMサーバーを終了する最も便利な方法は、<u>ライセンス管理ソフトウエアのシステムメニュー</u>の**コントロール**コマンドで 操作することです。あるいは、以下の手順に従います。

RLMサーバーを終了した場合は、必要に応じてサーバーマシンを再起動します。

ライセンス管理ソフトウエアをWindowsサービスに登録するか、デーモンとしてインストールした場合は、自動的に再起動されます。

コマンドプロンプトまたはターミナルで、ライセンス管理ソフトウエアのフォルダ(Windows)または/Library/PrivilegedHelperTools/ com.vectorworks.rlmフォルダ(Mac)に移動して以下のコマンドを実行し、サーバーを起動することもできます。

Windows: rlm.exe -c "C:\ProgramData\Vectorworks Site Protection"

Mac: sudo /Library/PrivilegedHelperTools/com.vectorworks.rlm/rlm -c "/Library/Application Support/ Vectorworks Site Protection/"

この方法では、起動時にオプションを設定できます。サーバー起動オプションを参照してください。Windowsでは、この方法でスタンドアロンのプログラムとして起動した場合、ソフトウエアの実行中は、コマンドプロンプトを開いたままにしておく必要があります。Macでは、ターミナルを閉じることができます。

<u>サーバー起動オプション</u> <u>Windowsサービスの設定</u> <u>ISVサーバーを終了する</u> <u>サーバー管理画面</u>

サーバー起動オプション

ISVおよびRLMサーバーを終了する最も便利な方法は、<u>ライセンス管理ソフトウエアのシステムメニュー</u>の**コントロール**コマンドで 操作することです。あるいは、以下の手順に従います。

通常、サーバー管理者はブラウザのインターフェイスを使用してサーバーコマンドにアクセスし、サーバーオプションを設定しま す。一部のコマンドは、起動時にコマンドプロンプトのオプションで設定することもできます。あまり使わないごく少数のコマンド はこの方法でのみ設定でき、ブラウザのインターフェイスには該当するパラメータがありません。

注:ブラウザで設定できないコマンドの場合は、コマンドプロンプトまたはターミナルにコマンドを入力する代わりに、 Windowsではショートカットを作成し、プロパティの**リンク先**のパスにオプションコマンドを追記して指定できます。Macでは bashスクリプトを作成し、指定できます。

設定オプションを指定するには:

- 1. ライセンス管理ソフトウエアを終了します。RLMサーバーを終了するを参照してください。
- 2. コマンドプロンプト(Windows)またはターミナル(Mac)を起動します。
- ライセンス管理ソフトウエアのフォルダ(Windows)または/Library/PrivilegedHelperTools/com.vectorworks.rlmフォルダ (Mac)に移動します。
- 4. 起動コマンドに続いてダッシュとオプション名を入力し、Enterキーを押して、RLMサーバーを再起動します。

Windows: rlm.exe -オプションコマンド

Mac:./rlm -オプションコマンド

有効にするには、サーバーを起動するたびに起動オプションを指定する必要があります。

この表の例では、主にWindowsのrlm.exeを使用しています。Macの場合は./rlmを使用してください。

起動オプション	説明	例
-c_ライセンスファイル	使用するライセンスファイル(.lic)を指定しま す(通常は、すべてのライセンスファイルを使 用します)。フォルダ名を指定して、そのフォ ルダ内のすべてのライセンスを使用することも できます。	rlm.exec_ABCD1234.lic
-c_フォルダ名	すべてのライセンスを使用しない場合は、使用 するライセンスファイルをフォルダ内に置き、 オプションにフォルダ名を入力します。それら のライセンスのみが使用されます。	<pre>rlm.exec_licenses rlm.exec_"C: \ProgramData\Vectorworks_Site_Protection"</pre>
-dlog_ファイルパス_ファ イル名	デバッグログの場所とファイル名を設定しま す。ファイルパスは、相対パスでも絶対パスで も指定できます。相対パスを使用する場合、現 在のフォルダはライセンス管理ソフトウエアの インストールフォルダです。再起動時、デバッ グログは上書きされます。	Windowsでの例:rlm.exe dlog_"Log\dlog.txt" Macでの例:./rlmdlog_"Log/dlog.txt"

	ブラウザのインターフェイス(Windows)でも 使用できます。 <u>デバッグログ</u> を参照してくださ い。	
-dlog_+_ファイルパス ファイル名	上述の手順でデバッグログを作成します。オプ ションに「+」を追加すると、再起動時に上書 きすることなく、ログに自動的にデータが追加 されます。 ブラウザのインターフェイスでも使用できま す。 <u>サーバーオプションを指定する</u> を参照して ください。	rlm.exedlog_+_"Log\dlog.txt"
-nows	サーバーがブラウザのインターフェイスに表示 されないようにします。すべてのコマンドは、 コマンドプロンプトまたはターミナルで実行す る必要があります。 注:ブラウザのインターフェイスを再び有 効にするには、-nowsオプションなしで サーバーを再起動します。	rlm.exenows
-ws_ポート番号	管理画面のポート番号を変更します。 <u>管理画面</u> <u>のポート番号を変更する</u> を参照してください。	rlm.exews_5056
-x_rlmdown -x_rlmremove	rlmdownとrlmremoveコマンドを無効にするかど うかを制御します。rlmdownコマンドを無効に すると、ISVサーバーを終了できなくなります。 rlmremoveコマンドを無効にすると、クライア ントが使用しているライセンスを削除するオプ ションが無効になります。 • -xは両方のコマンドを無効にします。 • -x_rlmdown • -x_rlmremove	-x_rlmdown
-install_service_サービス 名 (Windows)	サーバーソフトウエアをWindowsサービスとし て登録します。サービス名を入力します。これ は、サーバーマシン上にブラウザがなくても サーバーソフトウエアを自動的に起動させたい 場合に便利です。 ブラウザのインターフェイスでも使用できま す。 <u>Windowsサービスを停止する</u> を参照してく ださい。	-install_service_rlm

-isv_startup_delay	ISVサーバーの起動時間を、指定した秒数だけ 遅らせます。これにより、IPアドレスを取得し てライセンスを確認する時間を確保できるほ か、ドングルドライバーを参照する時間も確保 できます。 この時間の遅延はインストール時に指定でき、 実際に指定することが推奨されています。デ フォルト値は60秒です。	-isv_startup_delay_10
-V	RLMサーバーを起動し、バージョン番号をコマ ンドプロンプトにプリントして、終了します。 ブラウザのインターフェイスでも使用できま す。管理画面のSystem Infoをクリックします。	-v
-info	過去24時間にサーバーマシンで実行されていた すべてのRLMコピーに関する情報をプリントし て、終了します。 ブラウザのインターフェイスでも使用できま す。管理画面の System Info をクリックします。	-info

<u>Windowsサービスの設定</u> <u>サーバーのパスワードを設定する</u> <u>RLMオプションを制御する</u>

サーバーのパスワードを設定する

ユーザー名とパスワードが必要になります。

- <u>ライセンス管理ソフトウエアのシステムメニュー</u>の説明に従って、Vectorworks Site Protection>サーバー管理画面ログイン アカウントの設定を選択し、パスワードを設定します。
- または、管理画面のReread/Restart Serversをクリックします。
- あるいは、rlm.exeが置かれているのと同じフォルダ(通常はライセンス管理ソフトウエアのフォルダ(Windows)または/ Library/PrivilegedHelperTools/com.vectorworks.rlmフォルダ(Mac))にあるパスワードファイルrlm.pwから、RLMブラウザの インターフェイスへのアクセスを制御できます。

パスワードファイルのパスワード設定は、ユーザー名、パスワード、および許可された権限で構成されており、コロンで区切りま す。許可された権限が複数ある場合は、カンマで区切ります。

username:password:remove,_edit_options

ユーザーのパスワードファイルを空のパスワードで設定します。個々のユーザーは後でブラウザのインターフェイスでパスワードを 変更する必要があります。例:

lauren::shutdown, _remove

以下の表では、割り当て可能な権限を一覧表示しています。

権限	説明
all	すべての権限を有効にします。
edit_meter	本ソフトウエアでは使用できません。
edit_options	ISVオプションを設定できます。
edit_rlm_options	ライセンスファイルとrlmサーバーオプションファイルを編集できます。
edit_xfer	本ソフトウエアでは使用できません。
logfiles	レポートログおよびデバッグログのさまざまなログファイル機能(新規ログファイ ルの作成、ログファイルの切り替え)を有効にします。
remove	Vectorworksプログラムを実行中のクライアントからライセンスを削除して、クライ アントを終了します。
reread	ライセンスファイルを再読み込みします。
shutdown	ライセンスサーバーを終了します。
status	ライセンスに関するステータスおよびデバッグログ情報を表示します。

パスワードファイルの個別のユーザーに権限を割り当てるだけでなく、RLMオプションファイルのグループ、マシン、およびIPアド レスを指定して、この表に記載されている権限をそれらのグループに適用できます。以下に例を示します。 EXCLUDE_shutdown_group_architects

詳細は<u>RLMオプションを制御する</u>を参照してください。

.....

<u>RLMオプションを制御する</u> <u>Windowsサービスの設定</u> <u>ISVサーバーの各画面</u>

RLMオプションを制御する

ISVサーバーがVectorworksプログラムのライセンスに関する特定の機能を管理するのに対して、RLMサーバーはライセンス管理のコ ア機能を処理します。<u>サーバーオプションを指定する</u>のセクションでは、ユーザー、コンピューター、およびIPアドレスのグループ を作成して、Vectorworks固有のISV権限を割り当てる方法を詳細に説明しています。このセクションでは、RLMオプションを通じてグ ループに権限を割り当てる類似の方法について説明します。

割り当てまたは制限できる権限は、<u>サーバーのパスワードを設定する</u>で定義しています。

ユーザーまたはグループに割り当てる権限を指定して編集するには:

1. 管理画面でStatusをクリックします。

サーバーステータスペインが表示されます。

2. EDIT rlm Optionsボタンをクリックします。

Edit RLM Options画面が表示されます。

3. <u>サーバー構文</u>で説明している構文を使用して、rlmオプションを指定または編集します。

注:構文と例では、クライアントまたはクライアントグループの権限を設定するにあたり、ユーザー、ホスト、イン ターネット、グループ、ホストグループ、インターネットグループの区別なく指定できます。

コマンド	説明	構文
Excludeall	特定のクライアントの権限を一切許可し ません。	EXCLUDEALL_group_グループ名 例:EXCLUDEALL_group_interns
Exclude	クライアントに対し、指定した権限を制 限します。	EXCLUDE _、 権限 _、 ユーザー名 例:EXCLUDE _、 remove _、 name _、 sam
Includeall	特定のクライアントに対し、すべての権限 の使用を許可します。	INCLUDEALL _、 ホストグループ _、 グループ名 例:INCLUDEALL _、 status _、 host_group _、 IT
Include	クライアントの権限を指定します。	INCLUDE _、 権限 _し internet _し IPアドレス 例: INCLUDE _s hutdown _u Internet _u 172.67.94.13

4. Update Optionsボタンをクリックします。

オプションは、RLMソフトウエアと同じネットワークライセンスフォルダに置かれているrlm.optファイルに保存されます。

.....

<u> デバッグログ</u>

Windowsサービスの設定

Windows環境では、ライセンス管理ソフトウエアはWindowsサービスとしてインストールされます。この機能により、マシンを起動 すると自動的にライセンス管理ソフトウエアは起動し、システムの実行中はライセンス管理ソフトウエアが稼動し続けます。

サービスを簡単に停止または開始できる方法として、システムメニューコマンドで**コントロール>ストップ**または**コントロール>ス** タートを選択することを推奨します。

ライセンス管理ソフトウエアはインストール時にWindowsサービスとして登録されるため、以下のオプションにより、ライセンス管 理ソフトウエアをWindowsサービスとして停止または開始できます。

注:Windowsサービスを制御するには、管理者としてサーバーを起動する必要があります。

.....

<u>Windowsサービスを停止する</u> Windowsサービスを再起動する

Windowsサービスを停止する

- 1. <u>ISVサーバーを終了する</u>の手順に従い、ISVサーバーを終了させます。
- 2. Windowsのコントロールパネルを開きます。
- 3. サービスダイアログボックスに移動して、rlmを検索します。rlmをダブルクリックして、プロパティダイアログボックスを 開きます。

್ರ サ−ビス				
rlm	名前	状態	スタートアップの種類	ログ: ^
	🔍 Remote Proced	開始	自動	Netw
サービスの停止	🔍 Remote Proced		手動	Netw
<u>サービスの冉起動</u>	🔍 Remote Registry		手動	Loca
	🔅 rim	開始	自動	Loca
説明:	🔍 Routing and Re		無効	Loca
RLM License Server	🔍 Secondary Logon	開始	自動	Loca
	🔍 Secure Socket	開始	手動	Loca
	🔍 Security Accoun	開始	自動	Loca
	🔍 Security Center	開始	自動 (遅延開始)	Loca
	🔅 Server	開始	自動	Loca 🚽
	•	III		+
∖拡張⟨標準/				

4. サービスの状態の**停止**ボタンをクリックするとサービスが停止します。

(ローカル コンピューター)	rlm のプロパティ	\times
全般 ログオン 国	回復 依存関係	
サービス名:	rim	
表示名:	rlm	
説明:	License server for Vectorworks	
実行ファイルのパス: C:¥Program Files ((x86)¥Vectorworks Site Protection Server¥rlm.exe -service -c "C	
スタートアップの 種類(<u>E</u>):	自動 ~	
サービスの状態:		
開始(<u>S</u>)	停止(I) 一時停止(<u>P</u>) 再開(<u>R</u>)	
ここでサービスを開始	するときに適用する開始パラメーターを指定してください。	
開始パラメ−ター(<u>M</u>));	
	OK キャンセル 適用(<u>A</u>)	

.....

<u>Windowsサービスの設定</u>

Windowsサービスを再起動する

- 1. Windowsのコントロールパネルを開きます。
- 2. サービスダイアログボックスに移動して、rlmを右クリックします。
- 3. コンテキストメニューから**再起動**をクリックします。

್ರಿ サ−ビス						
rlm	名前		状態	スタートアップの種	類	ログ: ^
	🎑 Remote Proce	d	開始	自動		Netw
サービスの停止	🌼 Remote Proce	d		手動		Netw
<u>サービスの冉起動</u> 	🔍 Remote Regis	try		手動		Loca
	🖏 rim 👘		開始(S)			Loca
説明:	🎑 Routing and		(点) 信(L(O)			Loca
RLM License Server	🔍 Secondary L			D.		Loca 📃
	🔍 Secure Sock		の1単(、 再問(M)	~)		Loca
	🔍 Security Aco		市記動(F)	N		Loca
	🔍 Security Cen			hà		Loca
	🔍 Server		すべてのタ	マスク(K) ►		Loca 🚽
ļ	•		最新の情報に更新(F)			P.
∖拡張⟨標準/		プロパティ(R)				
			へレプ(H)			

注: ライセンス管理ソフトウエアの起動時にファイアウォールのブロックを解除するようにサービスを設定してくだ さい。

トラブルシューティング

このセクションでは、よくある問題や可能な解決策について説明します。その他お問い合わせの多い項目や最新情報については、テ クニカルサポートのナレッジベースも併せてご覧ください(英語): <u>kbase.vectorworks.net</u>

.....

<u>起動・認証時の確認事項</u> <u>クライアントまたはサーバーの問題</u>

<u>ライセンス管理ソフトウエアのエラーメッセージ</u>

起動・認証時の確認事項

以下では、サーバーまたはクライアントマシンの起動時や認証時のトラブルをまとめています。

• ログイン情報とパスワードは設定しましたか?

パスワードが空白の場合、サーバーは10分後に終了します。<u>ライセンス管理ソフトウエアのシステムメニュー</u>の説明に 従って、パスワードを設定します。

• MacのSafariでログインしようとすると、エラーメッセージが表示されますか?

Macマシンでは、SafariブラウザはRLMのバージョン15.1/15.2と互換性がありません。RLMサーバーがバージョン15.1/ 15.2の場合は、サーバーマシンで別のデフォルトブラウザを設定してください。

• 管理者(Administrator)権限以外でログオンしていませんか?

ライセンス管理ソフトウエアのインストールと実行には、管理者権限が必要です。ユーザー権限などでログオンしている 場合は、管理者権限でログオンし直してください。

• 必要なフォルダのアクセス権限に制限をかけていませんか?

システムを使用するには、以下のフォルダおよび任意のアカウントのVectorworksインストールフォルダで読み書き(フル コントロール)アクセスを有効にしておく必要があります:

Windows: C:\ProgramData\Vectorworks Site Protection

Mac: /Library/Application Support/Vectorworks Site Protection/

• サーバーとクライアントの間で、時刻設定にズレはありませんか?

サーバーとクライアントのタイムスタンプに大きなズレが生じている場合は、認証できません。

• サーバーライセンスファイルとクライアントログイン設定で、同じポート番号を設定していますか?

通常は、デフォルト値の5053を使用してください。

• ログイン設定ダイアログボックスで、正しいIPアドレスを入力していますか?

サーバーマシンのIPアドレスを確認し、必要に応じて正しいIPアドレスを入力してください。

ウイルス対策ソフトウエアまたはオペレーティングシステムの設定がサーバーまたはクライアントと競合していませんか?

.....

<u>クライアントまたはサーバーの問題</u> <u>ライセンス管理ソフトウエアのエラーメッセージ</u>

セキュリティソフトの設定を確認してください。場合によって、ファイアウォールの設定を調整する必要があります。

クライアントまたはサーバーの問題

状況:ライセンス管理ソフトウエアが起動しない。

- ドングルを使用している場合は、ドングルを接続し直し、ライトが点灯していることを確認してください。ライトが点灯 していない場合は、別のUSBポートに挿入するか、サーバーマシンを再起動してみてください。
- 正しいライセンスファイルを使用していることを確認するには、Vectorworks Site Protection>ライセンスを選択します。ラ イセンスファイル名がLPF_XXXXXX.licという形式でリスト表示されます。XXXXXXは、シリアル番号の末尾6文字と一致して いる必要があります。一致していない場合は、ライセンスファイルを再度ダウンロードし、Vectorworks Site Protection>ラ イセンス>ライセンスファイルを追加を選択して、正しいライセンスファイルを追加します。
- ライセンスファイルが適切なフォルダに置かれていることを確認してください:

Windows : C:\ProgramData\Vectorworks Site Protection

Mac: /Library/Application Support/Vectorworks Site Protection/

デバッグログから、サーバーの動作について何らかのヒントが得られることもあります。サーバーのステータスを確認して、ログのエラーメッセージをチェックしてください。デバッグログを参照してください。

状況:クライアントソフトウエアが起動しない。

- サーバー上の意図しないISVオプションでユーザーに制限がかかっていないことを確認してください。
- ログイン設定ダイアログボックスでポート番号を確認してください。通常、サーバーを自動検出にチェックが入っており、デフォルトのポート番号には5053が指定されています。サーバーとクライアントの間で、ポート番号が一致していることを確認してください。
- ファイアウォールがサーバーまたはクライアントの通信をブロックしていないことを確認してください。
- ネットワークが原因で認証に問題が生じることがあります。pingを使用してサーバーとクライアント間の接続を確認し、問題のある場合はネットワーク状況を再確認してください。
- サーバーマシンのIPアドレスを動的(DHCP)に設定していると、サーバーとクライアント間の接続に問題が生じることが あります。固定IPアドレスを使用してください。

状況:クライアントのVectorworksプログラムは終了しているが、ライセンスカウントが変わらない。

- ネットワーク接続の不具合や切断は、ライセンスカウントのエラーにつながることがあります。pingを使用してサーバーと クライアント間の接続を確認し、問題のある場合はネットワーク状況を再確認してください。ネットワークを避けてテス トします。クライアントマシンとサーバーのみで構成されるシンプルなネットワークを一時的に設定します。
- ネットワークの切断後にクライアントソフトウエアが強制終了されたり、何らかの理由で終了の信号がサーバーに届かな かったりした場合、ライセンスのカウントは一時的に誤った値になります。クライアントマシンのVectorworks製品を再起 動して、適切に終了します。問題が解消されない場合は、サーバーを再起動します。

状況:製品モジュールやライセンスを追加したが、適切に動作していない。

Vectorworks製品の起動時、ログイン設定ダイアログボックス内でモジュールダイアログを表示させ、モジュール条件を変更して、Renderworksモジュール、Architectモジュール、Landmarkモジュール、Spotlightモジュール、Designerモジュールなどのモジュールを有効にしてください。

- 複数の異なるラインアップのプログラムがある場合は、クライアントマシン上で、ソフトウエアがVectorworksネットワーク版の正しいインストーラーを使用してインストールされたことを確認してください。
- サーバー上の意図しないISVオプションでユーザーに制限がかかっていないことを確認してください。
- 後でモジュールを追加した場合は、ライセンスファイルが更新されたことを確認してください。5053以外のポート番号を 使用している場合は、更新後のライセンスファイルに正しいポート番号が記載されていることを確認してください。

状況:新しいクライアントライセンスが使用できない、またはライセンスカウントに含まれていない。

- ライセンスファイルは更新されていますか?
- 5053以外のポート番号を使用している場合は、更新後のライセンスファイルに正しいポート番号が記載されていることを 確認してください。

状況:ファイアウォールを越えてライセンスを適用したい。

ファイアウォールを越えてライセンスを適用したい場合は、ファイアウォールにRLMおよびISVサーバーのポート番号を設定して、 ポート越しにリクエストを通すようにします。

RLMサーバーは常に既知のポート番号を使用しており、この番号はライセンスファイル内のSERVERまたはHOST行で指定されています。

通常、RLMはすべてのISVサーバーを、起動前には不明なダイナミックポート番号で起動しますが、RLMがISVサーバーに固定のポー ト番号を割り当てるよう設定することは可能です。そのためには、ISV行でISVサーバーのポート番号を指定します。ポート番号はISV 行で5番目のパラメータです。

ISV_isv名_isvバイナリパス名_オプションファイル名_ポート番号

ポート番号を指定するには、このISVサーバーのオプションファイルを指定しなければなりません。

ポート番号を指定したら、ファイアウォールに(RLM用の)SERVER行のポート番号とISV行のポート番号への接続を許可させます。

ポート番号を有効にするには、RLMを再起動します(ウェブインターフェイスまたはrlmrereadを使用してISVサーバーを再起動して も、RLMは再起動されません)。

ISV行にあるオプションの「port=xxx」パラメータで、ISVサーバーのポート番号を指定することもできます。

ISV_isv名_binary=isvバイナリパス名_port=ポート番号

または

ISV_isv名_isvバイナリパス名_port=ポート番号

これらの方法を使用した場合は、ISVオプションファイルを指定する必要はありません。

.....

<u>ライセンス管理ソフトウエアのエラーメッセージ</u>

ライセンス管理ソフトウエアのエラーメッセージ

ライセンス管理ソフトウエアのエラー

実行中のコマンドウインドウやデバッグログに表示されます。

メッセージ:Could not access the license

ライセンスファイルが見つからないか、または破損しています。ライセンスファイルがあることを確認してください。必要に応じ て、ライセンスファイルをパッケージからコピーし直してください。

メッセージ:Error in license count or hostid

不正なライセンスファイルがあります。残りのライセンスは正しく読み込まれています。ライセンスファイルをパッケージからコ ピーし直してください。

メッセージ:No license file for this host

- ライセンスファイルで、ホスト名が正しくない、または不正です。
- 複数のライセンスファイルがあり、そのすべてで不正なホスト名が設定されています。

ライセンスファイルが複数使われている場合は、すべてのライセンスファイルにホスト名が追加されます。ホスト名のうち1つにエ ラーがあるが他のホスト名が有効な場合は、有効なホスト名がすべてのライセンスに使われます。

このエラーを回避するには、すべてのライセンスファイルでlocalhostを使用してください。

メッセージ:License module list displays rlm_roam instead of modules

ドングルで指定されているライセンスのみを読み込むことができます。ドングルを接続し直し、ライトが点灯していることを確認し てください。ライトが点灯していない場合は、別のUSBポートに挿入するか、サーバーを再起動してみてください。可能であれば、 ドングルが別のマシンで動作するかどうかを確認してください。

メッセージ: Duplicate license

サーバー上でライセンスが重複して見つかっています。重複しているライセンスを削除してください。

メッセージ:The following license has errors

サーバーがエラーの種類を特定しようとしています。影響を受けていないライセンスは読み込まれたままです。致命的なエラーがあ るライセンスは読み込めません。最も可能性が高いのは、ISV、製品、またはバージョンに関するエラーです。ライセンス管理ソフ トウエアを再インストールして、問題のあるライセンスを置き換えてください。

メッセージ:Port nnnn in use

サーバーマシンで、すでに他のアプリケーションなどがデフォルトのポート番号を使用しています。あるいは、ライセンス管理ソフ トウエアとサービスが同時に起動されたか、またはポート番号が入力されていません。

通常、ポート番号が不正または不明であるか、ポートがビジー状態の場合は、デフォルトのポート番号が使われます。ただし、デ フォルトのポート番号がすでに使用中の場合、サーバーはポートが空くまで待機します。 サーバーマシン上のログファイルへの書き込み中に、問題が発生しました。

- ログファイルの使用はオプションです。デフォルトでは、すべてのエラーはコマンドウインドウに表示されます。
- サーバーマシンの動作状態をチェックし、管理者権限でログインしているかを確認してください。

メッセージ: Cannot set server lock; lockfile problems / Port 5053 in use; waiting / (rlm) Cannot bind Web Server port 5054

これらのメッセージはほぼ必ず、複数のライセンス管理ソフトウエアが同一マシン上にインストールされており、他のプログラムが すでに実行中であることを示しています。セキュリティ上の理由から、複数のライセンス管理ソフトウエアを同一マシン上で実行す ることはできません。また、ライセンス管理ソフトウエアとサービスを同時に起動することは、個別のポート番号であってもできま せん。

RLMサーバーまたはISVサーバーのコピーが他に実行中でないかシステムをチェックして、プロセスを停止してください。その後、 RLMサーバーを再起動します。

他に考えられる問題は、別のプログラムがポートを使用している場合です。「netstat」コマンドを使用して、別のプログラムがこの ポートを使用していないか確認してください。

Hostsファイルにマシン名とIPアドレスが含まれていない場合は、ポート5054を使用しているプログラムがなくても、一部のシステム ではこのエラーが出ます。HostsファイルにhostnameとIPアドレスを追加すると問題は解決します。

メッセージ: You do not have permission./ Not logged in. Please log in.

Macでは、RLMサーバー(バージョン15.1/15.2)はSafariで動作しません。ログインしていても、このメッセージが表示されること があります。Macで別のデフォルトブラウザを使用するように設定してください。あるいは、MacのSafari>設定>プライバシー> Webサイトデータを管理パラメータで、localhostドメインのすべてのCookieを消去します。

Vectorworksクライアント側のエラー

メッセージ:サーバーとの接続が切断されました!

再試行をクリックして通信の再接続を試みてください。

再接続ができなかった場合、以下を確認してください。

- ネットワークが正しく動作しているか確認してください。
- サーバーマシンの動作状態を確認してください。
- ライセンス管理ソフトウエアの動作状態を確認してください。
- ライセンス管理ソフトウエアを再起動すると、クライアントとの接続が切れます。接続を「再試行」するか、クライアントを再起動してください。
- 接続されているクライアントをライセンス管理ソフトウエア側からRemoveすると、クライアントの接続が切れます。管理 者にお問い合わせください。

メッセージ:サーバーに接続できません。

• ネットワークが正しく動作しているか確認してください。
- サーバーマシンの動作状態を確認してください。
- ライセンス管理ソフトウエアの動作状態を確認してください。
- ログイン設定ダイアログボックスで、プライマリサーバーがユーザー名やホスト名になっている場合は、IPアドレスに変更してください。
- ログイン設定で、サーバーマシンのIPアドレスとポート番号が正しく設定されているかを確認してください。
- ログイン設定で、**サーバーを自動検出**にチェックが入っている場合はチェックを外し、サーバーマシンのIPアドレスを手入力してください。
- サーバーのISVオプションで、IPアドレスに基づく制限が設定されていないかを確認してください。

メッセージ:お使いのライセンスサーバーは、このバージョンのVectorworksをサポートしていません。システム管理者にライセン スサーバーを最新バージョンに更新してもらうか、Vectorworks, Inc.または自国のディストリビュータにお問い合わせください。

ライセンス管理ソフトウエアを最新バージョンに更新してください。

メッセージ:次のモジュールの持ち出し有効期限を__日間に設定することはできません。

許容持ち出し期間が、要求した持ち出し期間より短く設定されています。ソフトウエアの持ち出し期間を短くしてください。

メッセージ:次のモジュールの持ち出しは無効です。

ユーザーが要求したモジュールを持ち出すことは許可されていません。許可されているモジュールのみを持ち出してください。

状態:Vectorworksプログラムが反応しない。

ソフトウエアを終了してください。サーバーのデバッグログに「IN (client exit)」行が追加され、ライセンスが自動的にサーバーに返 却されます。

サーバーとクライアントの通信が一定時間ないと、ライセンスファイルが自動的にサーバーに返却されます。

.....

<u>トラブルシューティング</u>